發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

紛糾した政務官問題 けふ院内閣議で決定

首相は内相の主張を認めて政友會を說得の方針

【東京卅一日發】內務政務官問題は卅日夜政民兩黨の妥協成らず卅一日に持越されたが、閣議に先ち齋藤首相は三土鐵相、永井拓相、山本內相、高橋藏相等と個々に面接懇談したが、政友會出身閣僚は容易に讓歩せず山本內相又絕對的態度を持つて政友會の主張を排し結局完全な意見一致を見るに至らず午前十一時半からの閣議に臨んだ、なほ政務官の決定は明一日開院式後院內に臨時閣議を開き決定することゝなり又復延期の已むなきに至つた、しかして齋藤首相は山本內相の態度强硬とその主張の妥當性を認めゐるため極力政友會の說得に努める方針である模樣で、なほ齋藤首相は一日院內閣議で決定する見込みをつけてゐるが、午後一時からの政友會の幹部會の態度如何では齋藤首相の希望通りに行かぬかも知れず成行重視されてゐる

同參與官 石坂豐一（政）
商工次官 岩切重雄（民）
同參與官 松村光三（政）
遞信次官 志賀和多利（政）
同參與官 立花種忠子（研）
鐵道次官 名川侃市（政）
同參與官 板谷順助（政）
拓務次官 堤康次郎（民）
同參與官 木村小左衛門（民）
農林次官 有馬頼寧伯（研）
同參與官 松村謙三（民）

表面上は解決

內務を民政側に讓る

【東京卅一日發】政務官問題の紛糾は政友會から一任された鈴木政友總裁は午後三時半三土、鳩山兩相と協議した結果その裁斷は齋藤首相に一任して內閣の紛糾を速かに解くに決定した、斯くてさしも紛糾した政務官問題は內務を民政に讓り兎に角表面上の解決を告げる事となつた

【東京三十一日發】政務官問題に對し政友會は三十一日の總務會で總裁一任と決し鈴木總裁は午後四時鳩山、三土兩相と會見協議の結果更に山口幹事長をも招き熟議の後遂に齋藤首相に一任と決定した

內定した政務官

【東京三十一日發】政務官の銓衡は政友會の讓歩により左の如く內定一日の院內閣議で決定發令の筈である

內務次官 齋藤隆夫（民）
同參與官 勝田永吉（民）
外務次官 瀧正雄（政）
同參與官 澤本與一（民）
大藏次官 堀切善兵衛（政）
同參與官 上塚司（政）
司法次官 八並武治（民）
同參與官 岩本武助（政）
文部次官 東郷實（政）
同參與官 川島正次郎（政）
陸軍次官 石井三郎（政）
同參與官 土岐章子（研）
海軍次官 堀田正恒伯（研）

新舊拓相の事務引繼ぎ

新舊拓相の事務引繼ぎは二十八日午後一時よりかたの如く行はれた寫眞は永井新拓相（左）秦前拓相（右）

に提案を決定し明一日院內閣議に一て確定發令する事となつた

政民兩派の決定した政務官

【東京卅一日發】政友會の決定した政務官左の如し

外務政務次官 瀧正雄
大藏政務次官 堀切善兵衛
同參與官 上塚司
司法政務次官 石坂豐一
文部政務次官 東郷實
同參與官 川島正次郎
陸軍參與官 石井三郎
海軍參與官 岩本武助
商工參與官 松村光三
遞信政務次官 志賀和多利
鐵道政務次官 名川侃市
同參與官 板谷順助

民政黨の決定せる政務官左の如し

內務政務次官 齋藤隆夫
同參與官 勝田永吉
拓務政務次官 堤康次郎
同參與官 木村小左衛門
海軍政務次官 添田敬一郎
商工政務次官 岩切重雄
農林參與官 松村謙三
司法參與官 澤本與一

政友會側は總裁一任

幹部會の結果

【東京三十一日發】政友會は三十一日午後一時文相官邸に幹部會を開き鈴木總裁、三土、鳩山兩相、前總務、院內外總務、山口幹事長等出席し內務政務次官問題に就き組閣當初から山本內相の下に政友會の政務次官を配し內務行政の公正を期すべしとの主張の下に三土鳩山兩相より齋藤首相と折衝し來つた經過を聽取し三十日夜久原、山口兩氏が齋藤首相に交渉した顛末の報告ありて意見を交換した結果その裁斷を鈴木總裁に一任と決し午後三時半散會した

定例閣議

【東京三十一日發】卅一日の定例閣議は午前十一時半開會齋藤首相より本日決定すべき豫定だつた政務官は一日の院內閣議で決定すべきことを報告し政務官以外の事務官の政府委員を詮衡決定し一日政務官決定と共に發令することに意見一致し正午散會した

政民の確執解けず

首相の裁斷重視さる

【東京三十一日發】內務政務官をめぐり三十一日の閣議では政民の確執解けず政友會は午後一時より總務會を開き最後の態度決定につき慎重協議を重ねた、若し政友會にして讓歩せず既定方針通り邁進するに決すれば閣議で黨出身閣僚はサインを拒む事となり重大なる結果となるが齋藤首相の裁斷案は重視されてゐる

けふ臨時議會 開院式行幸

貴衆兩院の日程

【東京三十一日發】第六十二帝國議會開院式は一日午前十一時より貴族院で擧行される事となつた、この日天皇陛下は豫て仰出された通り午前十時三十五分第二公式鹵簿にて宮城御出門、鈴木侍從長、奈良武官長、一木宮相、林式部長官等供奉にて貴族院御着十一時本會議々場に出御あらせられ參列の貴衆兩院議員に對し優渥なる勅語を賜ひ十一時十五分貴族院御發還幸遊ばされる、當日貴族院は議事を開かず衆議院は午前十一時十分開會、奉答文を可決して散會することゝなつてゐる

演說內容奏上

【東京三十一日發】齋藤首相は午後二時參內臨時議會における施政方針並に外交方針に關する演說內容を奏上し御裁可を得同三十分退下した

高橋藏相參內

【東京三十一日發】高橋藏相は午後二時半參內財政經濟方針に關する演說內容に就き御裁可を得た

けふ發令

【東京三十一日發】鳩山文相は三十一日午後六時齋藤首相に對し鈴木總裁は政務官決定を齋藤首相の公正なる判斷に一任に決した旨通告した、よつて齋藤首相は今夜中

鈴木總裁から聲明書發表

「首相の裁斷に一任」と

【東京三十一日發】鈴木政友會總裁は卅一日午後幹部會終了後左の聲明を發した

內務、大藏兩次官の後任は擧國一致の實を示し人心安定の一助たらしむる所以なるを信じ我が黨より之を提唱した、齋藤首相は之を諒承し閣議に諮り閣僚も亦何等の異動を唱へるものなかりしに拘らず其の後山本內相遽かに態度を變へ職を賭して迄自己の主張を貫徹せんとせるは吾等の甚だ遺憾とする處である、素より我が黨主張の正當なるは胸くも之を信ずるも强ひて之を貫かんとする時は擧國一致時局匡救の實を失ふ恐れあるを憂ひ重大時局に鑑み齋藤首相の公正な裁斷に委れることゝした

首相の演說問題は軍部と折合ひつく

小磯次官と政府協議

【東京三十一日發】小磯陸軍次官は三十一日午前九時半柴田書記官長、堀切法制局長官を歷訪し軍規肅正に關する首相の施政演說草案が統帥權干犯となる懼れある點に就き協議したが大體兩者の折合がついた模樣である

遣外艦隊の陣容を一新する

近く司令官異動發表

【東京三十一日發】上海事件に活躍した野村吉三郎中將、第一遣外艦隊司令官鹽澤幸一少將、第三艦隊參謀長島田繁太郎少將、陸戰隊長植松練磨少將が將來月上旬打揃つて凱旋するので岡田海相はその際遣外艦隊の陣容を一新する事になり近く左の異動行はれん

第三艦隊司令長官中將 野村吉三郎
補軍令部出仕
海軍次官中將 左近司政三
補第三艦隊司令長官
第三艦隊參謀長少將 島田繁太郎
補軍令部出仕
第一遣外艦隊司令長官少將 鹽澤幸一
補教育局長
第三艦隊司令部附少將 坂野常善
補第一遣外艦隊司令官
第三艦隊司令部附大佐 菊野武
補第三艦隊參謀長

けふ發令異動

【東京三十一日發】左近司令官が近く第三艦隊司令長官に轉補されるに內定した結果海外省は一日附左の辭令發表の筈

海軍次官中將 左近司政三
補海軍々令部出仕（追つて第三艦隊司令長官に轉補）
艦政本部長中將 藤田尚德
任海軍次官
軍需局長中將 杉政人
補艦政本部長

なほ杉中將は機關出身に拘らず艦政本部長に拔擢された事は岡田海相の大英斷で人事行詰打開として好評を博してゐる

リ卿、ラ公使間に何等諒解なし

調查委員會から聲明

リットン卿とラムプソン英公使との大連に於ける會見に就いて種々噂が傳へられてゐるに對して三十一日午後委員會は代表者を通じて左の如き聲明をなさしめた

リットン卿とラムプソン公使との間に成立したと傳へられる滿洲問題解決に關する諒解は全々嘘構の事である、委員會は未だ何人とも何等の諒解にも達してゐないし最後案なるものは決定してゐないことは勿論である、更に傳へられるが如き諒解が委員長の權限に於て出來得べきでないことを諒承されたい、將來この如き問題を扱ふには今少し慎重な態度が望ましい【奉天電話】

見送りませう

けふ大連驛出發入營兵

◇……第一回 午前十時三十分
◇……第二回 午後一時四十五分
◇……第三回 午後九時三十分

舊政權軍閥の暴狀を聽取

藤田奉天商議會頭と野口民會長から說明

藤田奉天商議會頭、野口居留民會長及び庵谷忱の三氏は三十一日午後六時よりホテルに於て調查團五員委員と會見した、藤田會頭は曩に奉天商議より委員に提出した滿洲事變勃發までに於ける支那軍閥の紙幣亂發による經濟攪亂、不當加税による通商妨害、海關竟行の放行單不法檢查による通商妨害の事實調查の項目に亘つて說明をなし、官銀號の奉天票亂發と特產買占めの關係、また不當加税に就て列擧せる實例に就て說明をなし、舊政權に於ける軍閥の搾取の事實を詳細に說明した、野口會長は事變前における邦人居留民に對する不法壓迫、鮮農迫害の事實を述べ約二時間に亘る會見を終り八時三十分リットン卿は辭去した、委員側はリットン卿を始め傾聽し深く諒解する處あつたが更に藤田會頭の說明聽取を要求したので一日午前九時委員より奉天商議に赴き會見を續行することゝなつた【奉天電話】

けふ撫順を視察

調查團一行の日程

リットン卿以下八十餘名の聯盟調查員一行は滿鐵沿線最終の地として一日來撫左の日程にて炭都撫順を視察するが市內には歡迎ポスターが貼られて色めき、鮮農代表、縣農會は陳情準備を、炭礦事務所では案內手筈を終へ一行の到着を待受けてゐる、なほ撫順署では最終地だけに萬一の事なきやう警戒に萬全を期してゐる

午後零時十分撫順驛着、自動車にて炭礦長社宅に入り午餐、土產選定、同一時半炭礦事務所にて事業一般の說明を聽取、同二時四十分電車にて製油工場へ、同三時半古城子露天掘へ、同四時五十分撫順發奉天へ【撫順電話】

植田○團長上海出發

【上海三十一日發】植田○團長は本月午後二時當地發リバプール丸で○團司令部山砲○○隊その他を引率折柄降しきる雨を物ともせず見送る在留官民の熱誠なる歡送裡に一路故國に向け凱旋した、なほ午後三時ノルウエー丸では藤原○團長以下各隊出發凱旋した

金澤○隊の主力呉淞發凱旋

【上海三十一日發】引揚部隊の殿りたる五十嵐○隊長及時澤○大隊長以下江灣鎭で奮戰した金澤○隊主力は午後五時呉淞發弘安丸で夏草茂る新戰場に名殘りを惜みつゝ出帆雨雲低き崇明島の彼方に船影を沒し一路故國へ向つた

村井總領事が負傷後初登廳

【上海三十一日發】村井總領事は負傷後本日始めて總領事館に登廳し事務を執り凱旋部隊を見送つた植田○團長と感慨無量の態で袂別した後午後四時野村司令長官を陸戰隊病院に見舞ひ五時官邸に歸つた

滿洲國の急務は自動車道路建設

滿電長春支店長 原口純允

私は極めて短い期間ではあつたが過去において自動車營業にタッチした經驗からして滿蒙新國家における自動車道路網の完成の必要について機會ある毎に各方面に主張して來たものであるが、最近の新聞紙において新國家の自動車道路線計畫が着々として進捗しつゝあるとの報道に接し誠に欣快に堪へないものがある。

私はこの新興滿洲國にとつて、今日何よりも必要なことは治安の維持であると考へる、之は恐らく何人と雖も異存の無いところであらう。何となれば之なくしては滿洲國建設のそもそもの意義が失はれるのみならず資源の開發、產業の勃興等も實現せしむるに由ないからである。

然らばこの治安の維持、資源開發產業勃興の爲め根本的解決の鍵は何か。私は躊躇せずして速答する即ち「自動車道路の建設にあり」と。自動車道路としては

（一）鐵道に代るもの
（二）鐵道の培養線としての役割を持つもの
（三）都市を中心としてのサバーバンバス道路
（四）シテイーバス道路

等が考へられる。その存在の意義が何であれ、その交通運輸軍事上に占むる重要性に就ては縷述する迄もない。私は滿洲の特異性より更に次の二方面の利益を强調しなければならない。

（一）匪賊討伐上の便宜より
（二）產業道路としての見地より

先づ匪賊討伐上の便宜について考ふるに、某地點に匪賊來襲の急報があれば即時救援隊として大小部隊を、或は裝甲自動車隊を最も安全に、最も迅速に派遣し得、その被害は輕減せられるであらう。斯くして匪賊はその出沒可能範圍を狹められ結局はその存在を拒否せらるゝに違ひない。

次に產業道路としての效用を考へるに、滿蒙三千萬民衆の大部分を占むる農民は極めて粗笨的なる農法によつて得た生產物を冬期道路の氷結を待ち幾千百里の里程を馬車により都會へと運んだのであるが、この自動車の利用により最も低廉なるコストにより、最も速かに消費地に配給することを得ることゝなり、需要の增大は結局供給量を增加せしめ、農民は爲に潤ひ農民時代到來の盛代を壽ぐに至るであらう。又輸送方法のスピード化は自ら彼等の耕作方法にも或は耕作品種にも何等かの本質革命を齎らさずには置かないであらう

自動車道路網建設の必要については、今日最早何人も意見を挾む餘地は無いのであるが、然らば誰を使役工事せしむるか、資金を何處に求むるかに就き行悩みがあるのではないかと考へられる。

私の考へる處によればこの道路建設に使役する人夫に就ては、投降匪賊を當らしむるに如かずと思ふ。匪賊の大部分は或意味からいへば食ふに道なき失業者群である。ルンペン群である。此等の自由勞働者として使役せしむるもよし、過去の罪障の代償として賦役せしむるもよし、何れにせよ失業者救濟となり、社會政策的見地よりするも時宜を得たる方策なりと信ずる。兇暴なる匪賊を良民化するといふことは、匪賊討伐に對する消極的便法ともなる。かく見ることき自動車道路建設は一石二鳥或は三鳥の絕妙の方策といへるのである。

次に最も多くの人が頭を痛めてゐる融資問題については、私は彩票の發行により比較的容易に解決せらるゝのではないかと考へる。彩票の弊害或は害毒については議論の多い處であるが、私はそれが國家の手によつて國家の統制の下に行はれるときは、その弊害の多くは除かれ、最も簡單にして最良の融資方法と化すると考へてゐる。

內債、外債による資金調達、それも當然考へられることではあるが必ずしも望ましいものではないだらうか、之は必ずしも自動車道路建設の爲めのみの融資方法としてゞはなく他の一般資金調達法としても、一考も二考もなさるべき問題だと考へる。

私は滿洲國自動車道路が治安維持のため、その產業開發のため何を措いても先づ實行に着手せられんことを切に切に懇望する次第である（昭七、五、二八）

矢野參事官北平に歸任

【上海三十一日發】重光公使負傷以來來滬中の矢野參事官は六月二日發北平に歸任するに決した、右は聯盟調查團が北平來た迎へて折衝するため任務終了後再び上海に來り公使館事務を見る筈である

前閣僚御慰勞午餐會

【東京三十一日發】天皇陛下には前閣僚御慰勞の思召を以て三十一日正午床次竹二郎、鈴木喜三郎、大角岑生、芳澤謙吉、山本悌二郎、秦豐助、前田米藏、川村竹治諸氏を召され、宮中千種間で午餐會を催され、梨本大將宮殿下にも御臨席、牧野內府、關屋次官、鈴木侍從長、奈良武官長その他參列御陪食仰付けられた

夏の飲み物　不良品の見分法

警察署の取締許りに委せず　家庭でも注意を

シトロンやサイダーのポスターが白晝のペーヴメントを歩く眼に何と慕はしいこの頃でせう、氷のやうに冷切つた、つげばコップのふちからあふれる眞白な泡、あのさすやうな甘味、清涼飲料水こそは夏ののみものの王者でありませう

ところが市内の商人の中には如何はしい粗惡の清涼飲料水や古い賣殘りの品や

有毒な ものを含んでゐるシトロンやサイダーを賣つてゐる奸商も尠くありませんので大連市内の各警察署ではこの方面の取締りには年々多大の苦心を拂つてゐるやうですが當局の手だけではなかなか完全に不良品を驅逐することは不可能です、しかも不良清涼飲料水の害毒は決して等閑に出來ないほど猛毒性のものも時々見受けられますから清涼飲料水をお求めになる際には充分その

品質を 吟味して不良品を買はぬやうに御注意下さい、その見分け方の二三を申上げますと

一、古い物や不潔なものは口金のところを輕く握つて静かに逆さにして明るいところで透かして見ますと沈澱物や夾雜物が澤山下りて來るのが見えますが新鮮な良質の品には少しもありません

二、清涼飲料水の生命はあの炭酸瓦斯の發生にあるともいへますが惡い品は炭酸瓦斯が尠いから泡立ちがわるいので良いものほどはげしい勢ひで泡が湧き立ちます

三、良質のものは何ともいへない芳香と甘味をもつてゐるものです、味の良否は盛んに泡の立つてゐる時にはよくわかりませんがコップにあけて箸などで攪きまはして炭酸瓦斯を發生させた後で味はつて見ますとすぐわかります、良い品は甘味がありますが不良品は瓦斯と共に甘味が抜けてほとんど甘味がなくどうかするといやな刺戟性の味を持つてゐます

四、良品はいやな味が口に殘りませんが不良品の中にはいつまでも舌を刺戟して口中を荒すのがあります

五、名のある品――即ち相當社會に信用のあるものを選びますと大がい間違ひありません

もつとも同じ清涼飲料水でもその溫度によつては著しく泡立ちや味が違ひます、サイダーやシトロンはもち論充分冷して召上るべきです

各種白生地
豊富に取揃へて居ります
別染御誂專門の
丸紅京染白生地店
大連市浪速町（電話二一〇六番）

涼味百パーセント　フルーツ蜜豆

お子達のおやつに　ご婦人のお客様に

すつかり夏らしくなりましたがこれからのお子様方のおやつに、婦人のお客様がたによろこばれる、見るからに綺麗で美味しい涼味百パーセントのフルーツ蜜豆の拵へ方を申上げませう、分量は約七人ですから適宜材料を御加減下さい

▲材料＝赤豌豆一合、白砂糖十五匁、寒天一本の三分の一、赤ザラメ五十匁、卵白少々、西洋アンズ七個、さくらんぼ七個、パイナップル罐詰一切、バナナ一本

〇…豌豆はよく洗ひ重曹を茶匙二杯加へた水に一晩漬けて置いて、翌日その水ごと鍋に入れて十五分間中火で茹でます、すると水が黒くなりますからその水を流して別の水を入れ今度は豆が心まで軟かになるまで充分茹で、笊に揚げて鹽をパラリとふりかけて笊を振り動かして鹽氣が全體にわたるやうにします

〇…寒天は水に漬て置き軟かになつたらよくしぼつて鍋に入れ、水一合六勺を加へて煮とかし更に砂糖十匁を加へてよく混ぜ流し箱に流しこみ冷します、寒天が充分冷て固まりましたらこれを三四分のあられに切つて置きます。西洋アンズは縦に二つに切ってよく洗ひ、瀬戸引鉢に入れて砂糖五匁に水少々加へて弱火でゆつくりと軟かに煮、汁がなくなつたら火から下して冷して置きます。パイナップルやバナナも適宜庖丁します

〇…蜜は赤ザラメを鍋に入れ卵白と水を少しづゝ加へて弱い火でゆつくり煮立て、暫くしますと泡が浮いて下の方が透明になりますからこれを限度として布巾で漉して置きます、全部の用意がとゝのひましたら涼しさうなガラス器をえらんで寒天と豆を入れて上にアンズとパイナップルとバナナを盛合せ、眞ん中に色のきれいなさくらんぼを一つ載せて蜜をかけスプーンを添へて供しますさくらんぼは罐詰物の方が味がよいやうです

〇…果物は別に限られてゐるわけではありませんからお好みによつて他の物を用ひても差支ありません、總じて蜜豆は冷たいほど美味しいのですが、よく見かけるやうに中に氷のかけらを入れたりしますと全體が水つぽくなつて味をわるくしますから、材料を冷藏庫に藏つてよく冷たものを混ぜ合せて戴く方が結構です。蜜は甘いのがお好きな方はもつと煮つめてもかまひませんがあまり煮つめて濃く致しますと元のザラメになつてしまひますから御注意下さい

初夏の流行服

アチラでは競馬場は社交界の一つの延長で新しい流行の展覧會場の觀があり初夏の流行は競馬場裡から流れ出るといふわけです【寫眞はパリ最新流行の服です】

季節料理

鯖の卸し和へ

材料（五人前）鯖一尾、大根半本醤油、砂糖、鹽、海苔　生姜各少々

なるべく新しい鯖をえらみ三枚に卸して甘皮を去り　小骨や赤味をとり去つて五分角に賽の目に切り鹽と砂糖を少しづゝふりかけます三十分乃至一時間たつてからこれを大根卸しの中に混ぜ醤油を適宜に加へて和へます、この上によく燒いた海苔を揉んでふりかけ上に松葉生姜を十本ほど散らします、松葉生姜は生姜を細長く松葉のやうに切つて二三度水洗ひしたものです。ごく手輕な、季節向の滋味豊かな御料理です。

光榮のメリー白粉

レート化粧料本舗株式會社平尾贊平商店創製のメリー白粉は在來の一般白粉と異り純粋チタニウムを原料として苦心精製し白さの優れて美しき點に於て雙ぶものなく流行界の人氣を集めつゝあるが今回畏くも皇太后宮職よりメリー白粉固煉、水、粉の三種御買上げを命ぜられたるにより同舗は無上の光榮として感泣し謹んで調製の上大宮御所に上納の手續を取りたり

お父さまの趣味（廿七）

獸ならば區別なし

音樂の興が湧くと踊り出す　語る勝俣壽惠子さん

滿洲牧場主勝俣喜十郎氏の二女壽惠子（二三）さんは昨年自由學園の高等科を卒へて以來ずつとお宅でお母様のお手傳ひをしたり、大連友の會の中堅として色々な研究や事業に當つたりして毎日忙しくしていらつしやいますが、流石羽仁女史のお弟子だけあつてなかなかハキハキした理智的な、それでゐていかにも朗かなお孃さんです。

◆……◆

うちの父は他家のお父様方とちがつてあまり子供の事に干渉しない人ですし、子供も自然世間の方のやうにお父さんにあまり甘えたりくつついて歩いたりいたしませんので、私にも父の眞の趣味といふものはわかりませんの、それかと申して家族に對して無關心だといふのではなくて昨年の秋も恰度アメリカへ研究にまゐりますとやがて日支事變が勃發いたしましたので研究も何もうつちやらかして私共の安否を氣づかつて歸つてまゐりました、平生忙しい父の事ですから別に子供をかまつてくれなくてもちつとも不平に思つてゐませんの、それに馴れつこになつて見るとその方が自由でよろしうございますわ。

◆……◆

父の第一の趣味は牧畜でございませうね、何でも小さい時分にアメリカの牧場にゐて朝晩牧獸に接してゐる間にすつかり羊や牛が好きになつたのださうで、獸と來たら馬でも犬や猫でも區別なく可愛いらしうございます、それでつひこんな事業をはじめましたわけでせうけれど、それにしても父の牧畜に對する眞劍さつたら一寸他の方にも眞似が出來まいと思ひますこのごろ少し體をいためてやすんで居りますけれど、それでも牛が病氣したなんていふ噂をきゝますとてもぢつと寢てゐられないで看護婦のすきをねらつては牧場へ出かけやうとしますので、父の監視には皆が大分てこずつてゐるところですの。

◆……◆

そんな風で一頭一頭の名前から性質までまるで子供の事よりも熱心に憶えてゐて心から可愛がつてゐますので牛の方でも父さま私たちやまるで、待遇がちがひますのよ、先年まではどんな日にも毎朝五時までには牧場へ出かけますし今でも丈夫でさへあれば七時には必ずあちらへ出かける習慣がついてゐますのでこの頃暫く牛の顔も見ないでれてゐるのがこの上なく辛い様子でございます。その憂さをまぎらすためにこの頃引きりなしに「追分」のレコードを鳴らしてゐますけれど、追分だけは心から好きらしく時々まづい聲をはり上げて、追分などなつたりいたします。レコードといへば音樂を聽くのは大すきで興に乘つて來ると小さい妹と一しよに部屋中を踊りまはつたり……さあその踊りがダンスだか昔のおどりだかさてもけつたいな踊りなんですから見る方がお腹がいたくなりますわ、

◆……◆

繪も好き、スポーツも好き、日曜日には教會にも缺かさず出かけますが、何よりも御自分の趣味に合つた仕事を職業としてゐられる點で、父より幸福な人はあまりないだらうと思つて居ります。

滿日各地版

物資難と空襲に次第に衰へた反吉軍
愛國五號機の最後を見た ロシア運轉手の歸來談

【ハルビン】丁超、李杜等のハルビン逃亡に際して徵發された十三人のバス運轉手の一人ジンギレウイチなるものが賓縣方正三姓と引廻された上命からがらハルビンに逃げ歸つたが左はその話である

二月 ◇ 六日朝自分は他の十三人と共に拉致された、賓縣につくまでの吾々露人運轉手に對する彼等の態度は實に嚴重で運轉臺では銃劍をつけた兵がついて監視してゐた、その後吾々は又復三姓に向はねばならぬことを知つた、丁超の司令部と共に三姓に到着したが當時の丁超軍は慘澹たるもので一部は戰鬪で倒れ一部は吉林軍に寢返り又一部は飢餓と缺乏の爲め匪賊の群に投じたり又は他の反吉軍部隊に移つたり丁超の部下は至つて少いものとなつてしまつた、三姓到着後は丁超に代つて李杜が全軍の指揮をし彼は二十四旅長兼依蘭富錦鎭守使と稱してゐた、然し部下は給料不渡の爲め度々反亂を起しかけるので李杜は市中の印刷所を動員して一、五、十圓の紙幣を發行させた、これで兵卒の給料其他の支拂に當てたが早くも市中の商人は悉く商店を閉鎖しやうとしたので李杜は武力で朝の八時から夜の八時までは開店させると言ふ有樣だつたが物價は益々揚る一方だし市中の

物資 は極端に欠乏した、多少でも物資を得んが爲に馬團長の如きは蘇支國境近くに居住する白系露人でソウエトからつけまはされてゐる人物を狩立て、ソウエトに引渡しこの代償に金品を得る如き手段さへも講じた 三月十六日から三日間三姓で作戰會議が開かれたが右會議には王德林も出席してゐる、面白いのは李杜軍は新聞を發行して三姓富錦方面に配つてゐたがその中には吳佩孚軍六十萬はハルビンを包圍したから陷落も目睫の間だとかソウエトロシアから小麥三十萬布度を以つて飛行機十臺を備ふことゝなつたとか書いてゐたが盛目したら露人運轉手で飛行機の操縱出來る者があるかなど言つてゐた、然し飛行機はさう〳〵到着しなかつた、彼等の飛行機を恐れることは甚だしいもので日本の

飛行 機が飛來すると皆地にひれ伏して息もつかぬ有樣である、李杜の宿泊してゐた旅館に爆彈が命中し馬二十八頭兵十數名が即死した、又四月のある日には兵の宿舍に當てゝゐた風呂屋に投下され二百名が即死した事件もある、この事件で唯一の高射砲も破壞された、又李杜の司令部に對する爆擊は最も成功で全く木端微塵になつてしまつた、四月中旬私は三姓の西方三十露里のある部落に行つたがその時負傷した一日本將校と支那の棉さた目擊した、後でそれは愛國五號の塔乘者であることを知つた、支那兵約三百が嚴重に護送中であつた、負傷した

將校 も兩手を縛されたまゝ拉致されてゐたがこの後同人は縊死したと聞いた、私遇然三姓でハルビンコエウレミヤを手に入れてこの後の哈爾濱の狀況を知ることが出來た、それで他の四人と共に命からがら逃げ歸つた

滿洲國で編成の游動警察隊
けふから行動開始

【長春】滿洲國民政部に於ては今回游動警察隊を編成し六月一日より約二十日間の豫定で梨樹縣懷德縣農安縣を游動實施することゝなつたが隊員及び日程は左の如くである

▲隊長二名、副隊長四名、分隊長十六名、警士二百七十六名、計二百九十六名(全員武裝)

▲六月一日奉天發滿鐵線に依り四平街到着二日四平街發(以後徒步にて)同日梨樹縣着、三日梨樹發、四五日途中、六日懷德縣着、七日同地滯在、八日懷德縣發、九十、十一日途中十二日農安縣着、十三日同地滯在、十四日農安縣發、十五、六日途中、十七日長春着(但し雨天の際は豫定を變更す)

鳳凰城附近に匪賊橫行

【鳳凰城】二十九日午後一時半頃鳳城縣第一區王道子溝(附屬地東方約十町)に頭目不詳の匪賊約三十名現れ同地を片つ端から掠奪中なりとの密偵の情報に接したる鳳城縣警務局長は直に隊長張殿恩以下三十名の騎馬隊を討伐のため急派したが賊團は討伐隊の來るを知り山中に逃げ込んだ

鳳凰城市內に匪賊團潛入
立哨中の警官に發砲

【鳳凰城】二十九日午後九時頃鳳凰城市內山東街路に立哨警戒中の警務局巡警は擧動不審の支那人四五名が馬一頭をひいて通行し居るを發見し直に誰何せしに彼等は一言も發せず

巡警 に向つて發砲したので巡警は之に應射せし處賊は東方に向け逃走した、右匪賊侵入により警務局騎馬隊警察大隊は非常警戒をなし探索中なるも未だ逮捕に至らず引續き嚴重警戒中、憲兵隊では銃聲を聞くや直に守備隊及び警務局に通報し警務局警察大隊を指導匪賊の搜索に努め、守備隊に於ては下士以下十五名の斥候を出し警察大隊と連絡をとりつゝ活動し午後十時四十分引揚げた、又一方徐文海の部下二名三十日午前八時警察大隊部にいたり昨夜匪賊侵入の際殘せし馬一頭の引渡し方を申し出で其際昨夜侵入の匪賊は約三十名で我が隊は之と交戰鳳城縣第一區發家嶺(當地東南方約六支里)に

追擊 し賊一名を逮捕し目下同地に休息中なる旨語つたので警務局からは逮捕匪賊受領のため直に局員を同地に派遣した、尙賊は逃走の際軍帽四個と梯子二個を遺棄してゐた

ますます膨れる首都『新京』
過渡期の暴利取締に警察署では大童

【長春】長春警察署管內の長春附屬地最近の人口は急激に增加し將に包容力を突破した感がある、この情勢で押進むと首都長春の都市計畫が發表され且滿洲國が市街地の土地分讓解放を實施する時は茲に滿洲國一の大都市と人口の稠密さを現出するであらう、今日でも首都に決定前の長春と異つて長春署保安係に各種營業の許可を願出る者頗る多く從つて同署でも從來の方針そのまゝといふわけにもゆかず、大連、奉天の二大都市を標準として許可するの態度をとつてゐる殊に各方面から長春へ進出して來ても第一に居住難にあるため先づ旅館營業者を嚴密に調査して等級を附し、また下宿屋營業も旅館同樣等級制を設けて値段を決定嚴守させ過渡期の暴利を貪らせないことにすると共に飲食料理店、花柳界を初め各方面に亘つて新方針のもとに改善或は新規許可をなすことに努めつゝあることは一般に時宜に適した措置として頗る好評を以て迎へられてゐる

金山好を追跡
鐵嶺公安隊

【鐵嶺】故村田岩作氏の弔ひ合戰に賊團と對峙してゐた鐵嶺公安隊王中隊長は廿九日午前一時頃金山好以下賊團主力が鐵嶺縣下花兜山(宿壹屯北方十二支里)に移動せるを以て開原公安隊と協力これを挾擊しつゝ同日朝四時縣下土臺子に到着賊團を追跡中であると

潰滅近き李海青軍

【チチハル】紫東にある李海青軍は我軍の空軍爆擊に極度に恐怖し紫東地方一帶廿四町村に分散して村々には反國旗をかゝげてあだかも司令部の所在地の如く見せ我が飛行機隊の目をくらませたる樣に思ひつゝ各村に嚴密に連絡を執つて皇軍にそないてゐる程軍は目下安達にありて我平松〇團との連絡を取つて李海青軍を一擧に屠るべく行動を開始してゐるので李軍の潰滅は目前に切迫しつゝあり

血迷ふた〇〇〇の邀擊計畫

【チチハル】德都に全軍を集結してゐた〇〇〇は嫩江河畔の一戰に皇軍のため一敗地に塗れたのを忘れたが飽く迄皇軍に挑戰的態度を執り平賀〇團の北上を邀擊すべく二十七日通北に進出(海倫の北西)して來た尙通北に在る石蘭斌は〇〇〇と行動を共にする模樣である

深夜の馬賊
一夜に二軒 馬賊が闖入

【鞍山】鞍山鎭西永樂町四丁目一五五理髮業柏奎福(■■)方に三十日午前一時三十分頃表戸口より竊盜犯人侵入し支那箱中にありし現大洋百圓を竊取し逃走した

【四平街】二十九日午後九時十五分頃鐵道東永和大街二十二番地王業帝方および隣家鄭榮成方に二名の馬賊闖入し拳銃を突きつけて脅しあげ王方より大洋二百八十元、衣類數點鄭方より大洋九十五元と衣類二點指環一個を強奪せりとの急報に本署並に最寄派出所より警官出動したるも犯人逮捕に至らなかつた

匪賊頻りに動く

【鞍山】鞍山警察署司法係偵の報告によれば匪賊頭目海覧は部下百四十名を率ゐ二十八日午後十一時頃海城縣接官堡に入り首賭[illegible]に向け移動し二十九日午前十時頃遼陽縣三岔子(鞍山西方三里)に滯在中であるがなほ大刀匪頭目順天龍は部下三十名を率ゐ廿八日唐馬塞に滯在し亦頭目長勝は部下二百名を以て遼中、臺安、兩縣境界太子河流域にありて遼陽、海城、遼中、臺安の各縣に出入する通行者を拒絕し何等かの目的の下に嚴重警戒中であると

歸順交涉決裂

【安東】寢返りを打つた長白縣公安隊の歸順勸告について長白縣長使者と元同縣公安隊長李魁武とは同に八道溝で會見中であつたが李魁武の態度强硬な爲め交涉は遂に決裂し彼等今後の行動は注目されてゐる

大孤山襲擊の五羊一味

【鞍山】二十九日午前九時四十五分鞍山本署に到着したる遼陽縣第六區韓分局長よりの報告によれば大孤山採鑛所を襲擊した頭目五羊は部下二十八名を以て二十九日午前七時頃日本人人質三名を連れ第五、第六區の境界寬甸峪の楊國文湯盛陽方に於て朝食をなし三十日午前五時まで引續き同所に滯在し居ることを第六區より派遣せる密偵により判明したので、第六區より入山したる自衛團は全部引揚げたるが鐵王屯自衛團一連約四十名は尙山中にありて防衛中であると

【鞍山】廿九日午後五時三十分大孤山派出所よりの報告によれば大孤山採鑛所襲擊の頭目五羊の一團約三十名は廿八日午前七時頃遼陽縣太黑峪を通過し三泉觀に至り朝食を採り遼陽縣第五區寬甸峪を通過し尙樹籠嶺を通過し通明山の背陸寺に至り一泊したと

夏巡捕失明

【鞍山】鞍山時局委員會では大孤山馬賊事件に於て奮戰苦鬪し右眼に貫通銃創を受け鞍山滿鐵醫院に入院療養中の夏巡捕に對し三十日午前十時鈴木、西川兩委員は金一封を以て親く見舞ふところあつたが右眼は遂に失明したと

匪賊頭目海覧

【鞍山】鞍山警察署司法係刑事巡捕の聞知によれば二十八日午前十一時頃匪賊頭目海覧は部下三十名を率ゐ遼陽縣第八區唐馬塞に來り同村公所に於て第八區々長杜鑾陳、農商會長王蘭稚、雜貨商廣興久、主任車紹九、糧農苗子懇、馬福奎の六名を村公所に呼び出し「お前等は昨年頭目三勝に對し土地一天地割大洋三元を提供したるに付今度我等は彈藥不足を生じたるも金圓なき爲め六名にて一人割大洋一萬圓宛を五日間內に準備せよ」と命じ若し五日間以內に提供せざる時は我等に於ても方法を講ずると脅迫し居る爲め同村民は極度に恐怖し唐塞馬公安隊長王金祥は二十九日午前十一時頃鞍山方面に避難し來たと

滿洲國軍の北滿警備
いよいよ充實

【長春】東支南部線三岔河に駐在中であつた洮遼警備騎兵第一支隊司令王山安以下一千四百名は匪賊討伐軍總司令張海鵬の命に依り廿四日より毎日一個團宛を米沙子驛に輸送しつゝあつたが(既報)廿七日に全團の輸送を終り續いて同第七支隊彭金山以下一千百六十名を前同樣二十九日より輸送を開始する筈で滿洲國軍の北滿一帶に於ける警備は益々充實されつゝある

長春縣保衛隊を表彰

【長春】吉林警備隊吉興司令官は過般の農安扶餘方面に蟠居せる李海青匪軍の討伐に際し援助のため出動多大な殊勳を表した長春縣保衛隊の勞及び戰功に對し今回賞與金として現大洋一千五百元を附與することゝなり吉興司令より長春公署にあて保衛總隊の人名提出方を訓令するところあつた

戰場拾得品は警察に屆けよ
大連聖德街事件に鑑みて 四平街でも取締る

【四平街】過般大連に於て上海方面より持歸りたる不發彈爆發のため幼兒三名が不測の災害を蒙りたる新聞記事は子を持つ親に一大衝動を與へたるが當地に於ても大興其他の方面より諸種の物品を拾得持歸りたる者相當にある由なるが危險物を拾得持歸りたる者は一應當局に屆け出て承認を受けられたしと右違反者に對しては故意と過失を問はず爆發物取扱ひ法違反者として法に照し斷然處罰すべしと

白玉山の參道に車馬の通行制限
旅順署卅日から實制

【旅順】白玉山納骨祠及び表忠塔へ上下する車馬の參道に關しては從來から何等の制限が無かつたが旅順署では輓近自動車の增加に伴ひ一定の規則制定の必要さし研究中の處愈々三十日から次の如く制限をする事となり將來右の規則に違反する場合は容赦なく處罰をなすと

▲停車場前上り口は車馬絕對に禁止さる

▲車馬の登口は表參道(東洋橋派出所傍)

▲車馬の降り口は必ず北參道(村上農園前乃木町二丁目へ)

川崎伍長ほか廿八勇士の遺骨
長春經由、朝鮮へ凱旋

【長春】ハルビンを中心に東部線西部線及び松花江岸等北滿各地に於て轉戰し名譽の戰死を遂げた朝鮮〇團麾下の川崎伍長ほか二十八勇士の遺骨は二十九日午前六時四十九分着列車で長春着、驛貴賓室に奉安同九時二十分發列車で南下安奉線經由朝鮮原隊に歸還したが驛頭には白井鐵道事務所長、驛地委議長、田中中佐ほか官民多數迎送した

西尾大尉ら遺骨原隊へ

【長春】北滿地方に於ける皇軍の匪賊討伐に際し不幸敵彈のため斃れた步兵第七十六聯隊附西尾大尉外二十九名の遺骨は二十九日午前六時四十九分着列車にてハルビンより來長、同日午前九時二十分發列車にて原隊に向つた

故大塚上等兵の埋葬

【鞍山】鞍山守備の任にあつた大石橋第三大隊第三中隊味岡中隊の大塚建市上等兵は去月鐵西匪賊討伐に際し奮戰苦鬪し遂に名譽の戰死をなし鞍山西本願寺に英靈を祀つて居たが第六大隊歸還によつて盛大なる守備葬を舉行し遺骨は原籍に送還された四月十四日原籍の大塚墓地に納骨された旨遺族より通知があつた

四十男(邦人)の縊死
原因はさつぱり不明

【安東】市內四番通り六丁目四番地角田吉郎(四九)は廿九日拂曉家人の眼をぬすんで自宅で縊死を遂げた、同人は三番通紅屋旅館女將の弟であり現にスヽラン食堂の帳場として勤めてゐたものでスヽランでは別に自殺せねばならぬ樣な原因は無いと思ふ、尤も今月の初から頭が痛むと云つては居た、安東デーから三、四日忙しい中を休んだりして困つたが病氣なら致方ないと思つてゐたが、その頃から帳簿に記入洩れが多くて「どうかしてゐないか」尋ねると「春先きだからね」など冗談を言つてゐた、廿七日夜自宅へ歸る時も常と變らず冗談を云つてゐたが廿八日に無斷で休んで親子三人連れ(吉郞と妻それに實子)で何處かへ遊びに行つて來たらしいがどうしたのかと今朝(廿九日)見にやつたら死んでゐると云ふ始末で全く見當がつかない、生活に困つてゐる樣な事はない筈であると言つてゐた、なほ自宅でも「何が原因か判りません」と混雜中言葉短く語つたが發作的に死の道に急いだものらしく見られてゐる

內通巡官銃殺

【長春】敦化公安局北黃泥河子第四分局巡官劉萬德(二七)は豫てから注意中のものであつたが王德林軍及び大刀會匪と連絡內通し且つ頻々として起る吉敦沿線の鐵道木橋燒却事件にも關係あること確實になつたため廿六日銃殺された

看守を買收破獄し時餘に亘り激烈な市街戰
東豐縣城大肚川の牢破り事件

【鐵嶺】去る二十七日未明東豐縣城大肚川に於て破獄し囚人三十餘名が脫走したるは當時既報したるが、その後の詳報によれば監獄當局者は外部より數名の馬賊侵入して囚人を救出逃走せりと發表せるも調査の結果外部より匪賊の襲來せる形跡なく看守と囚匪が共謀して巧に破獄した事が判明した、首謀者死刑囚姜得勝、于德毅の二名で看守左釣(二四)を買收し二十五日長さ二丈二尺直徑一寸の鐵棒と足枷切斷用の鑢二挺を密かに受け足枷を完全に切斷するや破獄準備に着手し二十七日午前一時頃左看守と協力脫獄し他の死刑囚二十三名未決囚三名を救出し監獄事務所を襲ひて長銃七挺實包三百五十發を奪取大門より堂々と逃走し急報によつて馳付けた公安隊との間に約一時半激烈な市街戰を交へたるも公安隊克く戰ひ首謀者姜得勝以下二名を射殺し四名を逮捕、長銃七挺實包三百十發を奪回したが脫獄囚は全部足枷をはめた儘であつたが巧に助け合ひ混亂を紛れて四方に逃走した、公安隊では極力搜査中であるが未だ一名も逮捕されないやうである

化粧問答

サーワ化粧問答を始めて僅かに二回、お問合せが既に山積して、之からの分は到底お答へ致し兼ねますから、遺憾ながら茲に一先づお問合せを打切る事に致しました。惡しからず。但し既に到着の分だけは出來得る限りお答へ致します。

(問) 此春に女學校を卒業したものです。サーワ白粉を附けやうと思ふのですが、一体刷毛は何んなものが必要でせうか? 神奈川縣 芳子

答＝道具は矢張道具です。ホントに白粉の效果を擧げる爲には刷毛も各種欲しいものですが、大体塗刷毛、水刷毛、牡丹刷毛、それに粉白粉用のパフ、と之位有つたら宜しからうと思ひます。分り易いやうにカットに寫生を出して置きました。上から板刷毛、白粉を溶伸すに用ひ、又塗るに用ひますから塗刷毛とも呼びます。次が筆刷毛です。塗刷毛の屆かぬ部分へも屆かす爲に細く出來て居ります。それから水刷毛、之は塗つた白粉が乾いてから、水を含ませ一寸搾つて撫伸すに用ひるもので、或は他の刷毛でも間に合はぬ事はありません。次が牡丹刷毛、塗つた白粉の濕りを除り又仕上げるに用ひるので、粉を刷くにも用ひます。そして最後が粉刷毛のパフ、と先づ斯うした種類があります。

序でですがチタニウム主劑のサーワ白粉は從來に無く分子が絹の樣に細かですから、之等の刷毛の效果は一層顯がります。

◇◇

(問) 私事とても逆上せで荒れでコールドクリーム許り使ふて居ります。何んなに叮嚀に化粧致しましても直ぐ毛穴が開いて白粉がまばらに成り落付かず、ガサガサに成ります。たとへ一度でも人樣の樣に綺麗にお化粧致して見度いと念じて居ります今ではもう白粉附ける氣に成りません。何卒綺麗に白粉附けます樣お教へ願ひます。頸は顏より惡しくて白粉等とても附けられません、幾重にもお願み―― 秋田縣 武藤すゑ

答＝井戸水でせうから藥屋から硼砂末を買つて來て、使ふ度に少量宛溶かして使つて御覽なさい。石鹸は粗惡なものを使はぬやう、作用の緩和なミツワ石鹸のやうなものを使ふ事。そして矢張コールドクリームのマッサージを毎日一回位づゝ氣長にやつて御覽下さい。先づ蒸手拭でよくお顏を蒸して拭つてから豐富クリームを塗つて、キレイにした指先で外側へ外側へと云ふ具合に何回も撫でる事を繰返すのです。後又蒸手拭で拭いて次には冷し手拭で毛穴を緊める氣持に冷しながら拭くのです。クリームはサーワのコールドクリームをお奬めします。入浴の折にも上る時に冷水で顏を洗ふと云ふやうにして御覽なさい。つまり漸次皮膚を美しく改造しやうとする理です、そして不斷サーワ化粧水を擦込むやうにします。以上はお顏にも頸にも同樣の御注意です。お化粧はサーワのクリーム白粉か好からうと思ひます。或はサーワの粉を刷いた上に水白粉を附けられたら如何? 兎も角も規則的な生活をなさい。夜はよく眠られるやう胃腸を丈夫にしてお通じにも氣を注けられる事。

◇◇

(問) サーワ化粧水の上に、サーワ煉白粉を化粧水で淡く溶き幾度も〱塗り、其上を水刷毛して、ガーゼで濕りを除つて粉をハキます。此方法ですと、眞實に思ふ儘自然らしくお化粧出來るのですけど、何だか顏がアレル樣に思はれますが? 又頸化粧を何んなに手マメにしても直ぐ黑ずんで直ぐ着物の襟に附いてしまひますが? 岡山縣 問子

答＝毎晩就寢前に前の答へにも有る樣にサーワ・コールドクリームのマッサージをして頂きます。次に頸のお化粧の事は、多分脂肪に亂れるのでせうから、お化粧前にサーワ化粧水を含ませた脱脂綿でよく〱拭いてから、サーワの粉を刷いて暫らくおき、一旦それを拭除つてからお化粧して下さい。そして淡い砂糖水で水刷毛して御覽下さい。尚、頸は脂肪の多いものですから、平生ミツワ石鹸でよくお洗ひ下さい。そしてコールドのマッサージは勿論入念に致します。

◇◇

(問) 私は十八歳の男子ですが痤瘡が有ります。そして顏が美しくし度いと思つて居ます。如何すれば宜しいですか? 堺市 U・Y生

答＝既に出來た痤瘡は皆めないやうに、ミツワ軟膏を附けて置いて下さい。自然に膿が出て口が無く成つたらサーワ化粧水を毎日擦込む樣にします。又痤瘡を作らず美しく成るには、ミツワ石鹸のやうな作用の緩和い石鹸で常に顏の脂肪を落す事、湯の方がよく落ちます。そして其後サーワ・ヴアニシングクリームか今云ふ化粧水を擦込んで置くのです。それから便通に注意し、刺激物を攝らぬ事。

◇◇

(問) 私は顏に白粉を附けますとどうも固まつて了つて巧くノビません。皆樣のお勸めで種々方法を考へてやつて見ますが、矢張いけません。色黑なので肌色を使用しますが大きな斑點の樣に成つて了ひます。如何すれば宜しいのでせうか? 東京 喜久代

答＝地肌がよく出來て居ないからだと思ひます。前問の答への頸の化粧手當をお顏へも應用して御覽下さい。そしてサーワ水白粉の肌色を一寸淡めてよく煉伸し、二三回繰返して叮嚀に塗り、乾いたら水刷毛でよく撫伸し、あと牡丹刷毛を使つて御覽下さい。分子が細かな白粉ですから之等の刷毛が面白い樣に效き、又よく伸びます。尚白粉下にクリーム類を使はれたら、必ず一日よく拭除る事。

◇◇

(問) 十九歳で御座いますが、顏に腫物が出來ます。色々藥をつけて見ますが良く成りません。また出來ました跡がぶつ〱として何時迄も〱殘つて居まして、粉白粉を附けても其處丈は紫色に成つて了ひます。 東京 幸代

答＝前々問の痤瘡に對する答へを御參照下さい。うす黑い傷痕は、サーワ化粧水を根氣よく毎日擦込むやうにして居たら宜しく、更に貴女にお勸めしたいのはサーワ・コールドクリームのマッサージです。皮膚の新陳代謝を盛んならしめやうと云ふ譯、が跡を爽然と拭除る必要が有ります。それからミツワ石鹸のやうに作用の緩和い石鹸で、常に皮膚の清潔をお心掛け下さい。そして胃腸を丈夫にする事、食養生、夜もよく眠る事等。

小冊子『白粉の常識』 新聞名記入御申越次第送呈 東京市日本橋區米澤町 ミツワ石鹸本舗 丸見屋商店

御婦人の洗髪

今迄假に月一回のお洗髮であつたとすれば、春からは少くとも月に二回位は洗ひ度いもので、と申しますよりは汚れた場合には何時でも洗はなければ成りません。

さて其洗料は色々ありますが矢張眞實に地肌や毛髮を清淨にします爲には石鹸汁が宜しいやうで、唯注意すべきは良い石鹸を選まなくては成らない事で、例の毛髮が赤味を帶びるとか、又キシム等の事實は皆良く無い石鹸を使ふからの事であります。

即ち品質が純良なばかりか、特に其化學的の作用が緩和くて、洗ひ流せば後に微塵も石鹸分を殘さないミツワ石鹸のやうなものを使へば理想的であります。

成るべく大きな金盥、底は淺くて結構ですが、之へ微温湯を滿たします。そしてミツワ石鹸を溶いて薄い牛乳の程度、指で抓んで見ればヌル〱と感じる位の程度にして、之でもつて頭の地肌から毛髮を充分に浸すのです。それから地肌をよく〱洗ひ、又毛髮は梳くやうにして何回も何回も洗ひます。若し此際日本髮で鬢などが油の爲に固く成つて居るやうでしたら、洗ふ前にミツワ椿油を一通り附けてよく解かして置けば大層洗ひ易いものです。

或ひは雲脂の多い方とか、又平生餘り油を使はれぬ方とかなどは前晩に矢張此ミツワ椿油を頭の地肌へよく〱擦込むやうにして置かれると宜しいのです。

さて洗ひ終へましたら後繰返してよくゆすぎます。此ゆすぎが不足しますと折角の洗髮も何にも成りません。そして最後のゆすぎ湯の中へ矢張ミツワ椿油を少量滴らすと、古い油や埃は一層完全に除れまして、同時に毛髮は美しい艶を持ち、又如何にもシツトリとした感じに成り、直に御結髮の準備にも成る譯であります。勿論頭の地肌へも此椿油を擦込むやうに致して置きます。

一体椿油の特長とする所は浸透性と不乾性とで、此浸透性といふのは頭の地肌や毛髮の組織によく浸み透つて、其榮養と成る意味ですし、又不乾性といふのは常に髮と毛髮に潤ひを持たせて乾かしたり荒らしたりしない意味でありますが、獨り此ミツワ椿油に限つて以上の二つの特長を完全に持つて居るのです、と云ふのが、此油は冷壓法とて絕對に加熱せずに強力な壓搾機で搾つた儘の、全く純粹其ものだからであります。

毛髮の營養料としては斯うした油で無ければ意味が無い譯で、偖此油を基礎としたものにミツワ・ポマードとミツワ・コスメチックとが有ります。

曙の鐘（301）

倉田潮　河野想多畫

闖入（七）

芳川は巡査が平津をはこび去つた後、事が思つたよりも一層よく行つた嬉しさで、眠らうとしても眠れなかつた。

今迄彼は平津の出現に何れほご脅えてゐたか知れなかつた。平津は怖ろしい兇暴性を持つた人間でその腕力が人間以上のものであるのを彼は地下室の格闘で十分實驗してゐた。芳川も今こそ病にやつれてゐるが、學校を出てから柔道は三年も專門に習つたことがあり一流の免許をさへ持つてゐる。その熟練した彼のわざを平津は蠻力で總てはねかへし破つてしまつたではなかつたか。しかも平津はその腕力を用ひて、より子に幾度か拷問をかけたさうだ。まだ自白だけはしてゐないやうだが「死ぬ方がましだ」と云ふほごの責め苦の爲により子が何時一切の秘密を白狀してしまふか解らないではないかところが其の平津が思ひがけなく此の家にとびこんで來て、我から進んで繩にかゝつてしまつた。

「いや運がよかつたのだ」

と芳川は大きい聲で呟いた。平津が來て困つてゐるところへ丁度よく警察の人がやつて來て、警察に電話をかけてくれるなぞといふうまいはこび方が、運がよくなくて何でやれるものか。

運がよかつたのだ。あけみの秘密は總て聞き出してしまつた上に頭痛の種の平津を獄舍につきこんでしまつた。今夜から枕を高くして眠れると云ふものだ。

しかし、芳川は餘りの喜びに枕を高くしても眠れなかつた。仕方なく起き出してお祝ひに、先頃より子が届けてよこした瓶詰を開けて、一人ちびちびと飲み初めた。隨分いける口だつた。それに家が町に遠いので、買ひおきの魚や罐詰が可成り澤山ある。幸ひたどんがまだ消えてゐなかつたので、味淋づけにした魚をやいて、牛肉の罐を切つた。と、半時間ばかり飲んでゐたと思ふ頃に玄關の扉が烈しく打ち叩かれて、

「芳川さん、まだ起きてゐますか」

と呼ぶ者がある。芳川は我れ知らずひやりとしたが、驚つて立ち上ると、忍び足に勝手元に近づいて行つた。勝手のガラス戸越しに玄關はよく見えるのだ。

見ると軒燈の下に大きい鵜のやうに黑い人影が立つてゐた。巡査だつた。巡査なのに安心して、芳川は玄關に走つて行つて、

「何か御用事ですか」

と訊いた。

「ええ、飛んでもないことが起りましたよ」

と外から驚愕の聲が答へた。

「何です」

「平津が逃げました」

「え」

と芳川は氣がぬけたやうに驚いて、扉にかけよつた。

「あんなに嚴重に縛り上げたのにですか」

「さうですよ」

と開けかけた扉から部長の服をつけた警官は這入つて來た。半面に格闘のあとを物語る厚い繃帶をしてゐた。

「偉い奴もあるもんですね。矢張り腕力で逃げたんですか」

「さうですよ。で、また平津の奴あなたの家に躍りこみはしないかと思ひましてね、探索に出る先に一寸ここへ御知らせがてら……」

「有り難うございます、ま、おあがり下さい」

芳川は平津に對して非常な恐怖を持つてゐた。實際平津が自分一人ゐるところへ踏みこんで來たら今度は命をとられるかもしれないで、この警官に酒をのまして、家に泊めてしまはうと考へて、

「丁度初めてゐたとこですから鳥渡一口だけ……」

と無理に部屋に引きあげて、盃をさしつけた。

第三回 滿日特選碁戰

先番 三段 増淵辰子　四段 向井一男

一二一チ七 ○ 一二二リ八
一二三チ八 ○ 一二四テ九
一二五ト九 ○ 一二六リ七
一二七チ十 ○ 一二八リ九
一二九ト十 ○ 一三〇ホ十
一三一ニ九 ○ 一三二チ四
一三三ト四 ○ 一三四ト五
一三五リ二 ○ 一三六ト八
一三七ト七 ○ 一三八ヘ八
一三九ヘ七 ○ 一四〇ホ八

—【7】—

對局者の感想

白曰く　一三〇の手にて（ニの十一）に綿れて打てば無事すが大層細かいように思はれました、下邊の劫爭の關係を見てきびしく打ちました、黑一三一の手にて反對に（ニの十一）に行びられたらなほむづかしい變化を見るところでしよう

黑曰く　一三七で（トの六）に當てると白（への六）と劫に打たれ下邊と兩劫になります

滿日柳壇

凱旋　高橋月南選

凱旋へ家中明るい灯がこぼり　昌圖 山口 華江
凱旋へ悲喜交々の顔が寄り
凱旋へ戰死のわが子母想ひ　立山 山村 靜春
凱旋の話へ近所皆んな寄り
凱旋兵村長樣と肩並べ　大連 小田 壽
新聞に赤字で出る凱旋日
カフエーで凱旋兵一人もて　昌圖 山口 柳川
凱旋の喜びに滿つ旗の搖れ
凱旋の裏に苦鬪の涙あり
千人針ほんとに無事に凱旋し　新城子 岩下 武夫
凱旋へとりまかれてる幼な友　昌圖 山口 斗牛
凱旋へまざまざと見る子の戰死
生還を期せぬ覺悟が凱旋し
凱旋の喜び家中の顔が寄り
凱旋の今日から家に生く氣なり　新城子 岩下 武夫
鐵兜ちつとおもたく凱旋し　小倉 中村土太郎
蝦腰を伸べて凱旋迎へ居り
凱旋に市太郎やいも無事で居り
凱旋の將士に涙新になり　大連 田島渡志樓
凱旋の將士の顔のはれやかさ
あせた服苦戰苦鬪を土産にし
凱旋へ感謝の涙あらたなり　旅順 鈴木 夏山
緣だけの榮えある軍旗凱旋し
眞先に坊やを見出す凱旋兵
お馴染のつぶし島田も迎へてる
湧き起る歡呼の聲に眼がうるみ　大阪 桐生 孔二
凱旋の出船テープの雨が降り
日の丸の怒濤の下に汽車が着き
戰死せぬが恥しいとて健氣なり
母親の涙に勇士恥ぢてゐる
父よりも勳章を坊は待つてゐる　撫順 上田 闘明
凱旋へふつと淋しい友の顔
凱旋だいま驛頭は旗の海
瓶風呂に浸り凱旋間近なり
凱旋の土産は額の傷を持ち　旅順 田中 武
凱旋の二字見當らぬ支那の辭書
軍服の子供上等兵が大將なり　大連 濱崎風來坊
何んとなく女目につく凱旋兵　群馬縣 茂木 咲女
凱旋へ國旗の波が押寄せる
凱旋と聞いて母親嬉し泣き
大戰に會はぬ凱旋不平なり　大連 赤井 一村
旅波に浮ぶ汽車から凱旋兵
凱旋兵村長樣も御出迎へ
甕龜のやうに御用船テープ引き

滿日柳壇募集

▽題 「鐵兜」「撒水車」「記憶」
▽句 各題五句住所氏名明記の事
▽締 六月十日着便まで
▽宛 大連市能登町十高橋月南

けふの放送

大連 JQAK 六月一日

▲午前六時ラヂオ體操
▲午後七時三十分ニユース
▲英語講座「テキスト第四課」大連第二中學校片山篤郎
▲マンドリン（一）第一前奏曲伊藤十五郎作（二）第三前奏曲同（三）テーマとヴアリエシヨン、伊藤十五郎
▲義太夫「勢州阿漕浦鈴鹿合戰」平治住家の段、淨瑠璃近藤新玉 三味線豐澤仕次
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報
▲中國劇「桑田寄子」連東倶樂部々員

東京 JOAK 六月一日午後六時三十分

▲講演「日本と新滿洲の民族的關係」文學博士鳥居龍藏（大阪より）
▲浪花節「乃木將軍鹽原建碑の巻」京山若丸（大阪より）
▲落語「孝行糖」笑福亭松鶴、囃子連中
▲マンドリンとピアノ獨奏、マンドリン田中恒彦（一）マンドリン、ピアノ近藤博次郎「イ」物語「ロ」スペインの踊「ハ」サルタレラ舞曲カラーチエ作（二）ピアノ「A」リブイアのキリストに跪く驢馬ひきB譜○曲風な圓舞曲シヤブリエ作

現代（六月號）

◇本號には「ロシヤ恐るべきか」「ロシヤ軍隊の實力」「フアッショ首相との一問一答錄」代議士清瀨一郎氏の議會政治擁護論
◇興味讀物として「大海戰秘話實話」「怪艦エムデン追跡記」があり又「素人商賣開業體驗記」「發明家母子苦心物語」
◇本誌は「現代人の雜誌」「面白い雜誌」として斷然異色を誇つてゐる

幼年の國（六月號）

六月號「幼年の國」の呼物は、何んと云つても四つの附錄であらう。これまでの同誌附錄は、組立大附錄であつたが、六月號はずつと目先を變へて、極く簡單な、しかも氣の利いた附錄「動く爆彈三勇士」「軍人將棋」「かげ繪色紙」をつけてゐる。同誌獨特の讀物附錄「がいせん繪物語」の他、つゞき物、讀切物合せて二十有餘の愉快な讀物は、これらの附錄と共に堪能するまで子供たちの讀書力を滿足させるだらう）定價四十錢送料二錢五厘東京丸ビル婦女界社發行）

婦人と修養（五月號）

僅か十錢でこれだけの內容を盛つた雜誌が讀めるとは何と安いことかと驚かされる。宮田修氏の「この人を見よ」都河龍氏の「夫の出世を妨げる惡妻十種」は殊に光つた讀物である「現代女中さんの心得草千般」は女中さんばかりでなく主婦も必讀すべき有益なものである。戰時哀話「母の乳房」には誰でも泣かされる、その他の家庭小說「女性讃歎」家庭講談「北政所」もある。とにかく安くて爲になるよい婦人雜誌である（一冊十錢東京丸ビル二階婦女界社發行）

婦女界（六月號）

とかく編輯方針のグラつきがちな此頃の婦人雜誌界にあつて、依然婦人の實際生活に卽し、終始動かぬ編輯法には先づ絕大の敬意を表したい。六月號は「婦人一代の衞生號」と題して、女性の各期——少女時代から更年期迄婦人一代の衞生と一代の健康法を、徹底的に公開してゐる。最も罹り易い婦人病に對しては悉く實話入りで、婦人科の權威たる五醫學博士が明答を與へ、婦人病一切の惱みを誌上診斷して餘す所ない。その外「職業婦人の健康法廿ケ條」や「子宮癌の大手術を受けた某夫人の實話」「健康を語る座談會」等、婦人病者への福音記事を滿載してゐる。「夏の和洋裝美を語る座談會」では最も經濟に上手に女性美を發揮する秘法が、時節柄婦人の心を惹きつける。附錄の「夏の簡單服型紙六種」は寶品にない特殊の考案が加へられ、十分外出着にもなる所に特色がある。誰でも一讀して作りたい慾望が動く。讀物欄には「金髮の女流飛行家正田マリエさんの半生」「デパートの萬引物語」川口氏の「母なればこそ」等、胸を打つ記事が多い。新連載の小說細田民樹氏の「靑い仕事着」は、新時代の若人に、強く響く傑作である（定價五十錢、送料四錢半、東京丸ビル二階婦女界社發行）

滿洲日報

政、民兩派互に讓らず 內務次官問題紛糾す
政友、首相に善處を求む

【東京三十一日發】三十日閣議散會後鳩山、三土兩相と柴田翰長折衝の結果、政務官問題は解決の段階まで進んだ如く見られたが鳩山三土兩相は柴田翰長と會見後、鐵相官邸に久原總務、山口幹事長の來邸を求め右會見顛末を報告し黨の諒解を求めんとしたるも、久原山口兩氏の態度意外に强硬にして黨の意思を無視する態度には絶對反對であると突っぱねたので問題は再び逆轉した、よって久原、山口兩氏は午後八時半四谷の私邸に齋藤首相を訪問し、問題は一政務官の問題ではなく、擧國內閣を破るか否かの問題である、且つ首相の文相に對する信義の問題で事は重大であるとて首相の善處を求めて辭去し、再び鐵相官邸にて兩相と會見協議の結果、飽くまで既定方針を以て進むことに決定した、なほ民政黨でも飽くまで內務次官獲得を主張して讓らず形勢は再び逆轉し問題は持越されるに至ったが、齋藤首相が如何にしてこの難關を乘切るか注目されてゐる

政友主張强調 幹部首相を訪問

【東京三十一日發】政、民兩黨間の政務官奪取競爭は內務次官の椅子を廻りて激化し三十日閣議後鳩山、三土兩相が柴田翰長と折衝の結果「地方官の異動については政務官の容喙を許さぬこと」を條件に內務次官を民政黨に振り當るに決したが、この報告を受けた久原政友筆頭總裁、山口幹事長は「斯くの如きは黨の意思を無視するもの」と意外に强硬な態度を示すので鳩山、三土兩相も「決定的妥協を行ったものでないから」と釋明した結果久原、山口兩氏は同夜八時半私邸に齋藤首相を訪ひ黨の主張を强調した

政友側協議

【東京三十日發】三土鐵相は三十日午後五時四十分官邸に久原、山口兩氏と會見、內務政務官問題につき民政側の態度强硬なる旨を述べ、之が善後策につき長時間種々協議した

政務官廢止を主張
首相、妥協不可能の場合

【東京三十一日發】臨時議會を控へて政務官詮衡の山本內相對政友會側の對立は愈々紛糾し新內閣當初の暗礁に乘り揚てゐる形である即ち政友會では黨の消長に重要關係を有する內務人事が民政黨に偏する措置が山本內相により講ぜられる事を虞れ、政務次官の椅子は政友會から採れと極力主張、これに對し山本內相は內務行政に素人である關係から自分の信頼出來る人の輔佐を得ねばならぬとし、民政黨亦これを支持し昨日の閣議でも遂に決定を見るに至らず、齋藤首相も山本內相入閣當時の事情に鑑み非常に困難な立場に立ってゐるが、卅一日閣議會前、首相並に兩黨出身閣僚の懇談會で首相は極力政友側の讓歩を求め、首相一任の形式で圓滿解決を圖らんとしてゐる、首相一任困難の場合は政務官制度存續に關する根本方策確立迄政務官の任免を中止する方針といはれてゐるが、一度閣議で決したこの問題を人物詮衡の紛糾から中止するは事の輕重を問はれるものとして、斯かる姑策によらずとも圓滿解決出來ると首相側近者は樂觀してゐる

【東京卅一日發】政務官問題は內務政務次官の椅子を繞って政民兩黨の意見全く反し臨時議會を明日に控へ政府としては之が解決に一方ならぬ苦心を拂ってゐるが、政府方面では圓滿解決方法纏まらぬ時は內務次官問題だけを切離し妥協的態度に出ることなく政務官全般の根本問題に立ち返り政務官全廢の强硬態度に出ることゝなる模樣である

齋藤首相 妥協希望

【東京三十一日發】齋藤首相は卅一日午前八時二十分閣議に先立って官邸に柴田翰長、堀切長官を招致して政務官問題に關し前日來の情勢を聽取後、同九時半三土鐵相永井拓相を招いて政、民兩派の意向を聽取すると同時に、時局重大の折だから兩派においても努めて妥協されたいと希望し、更に協議懇談後閣議に臨んだ

鐵、拓兩相 首相に進言

【東京三十一日發】齋藤首相は本日閣議に先だち紛糾せる政務官問題解決のため午前九時二十分永井拓相、同三十分三土鐵相と官邸にて會見し懇談したが、三土鐵相は政務官決定を首相に一任するが何も無條件では困る、殊に內務次官において充分考慮ありたいと內務次官の讓歩困難なる旨を告げ永井拓相又民政黨の主張を繰返し首相の善處を要望した、尚後藤農相は午前九時山本內相を訪ひ政務官問題を協議した

民政幹部會

【東京三十一日發】民政黨は政務官問題につき三十日夕若槻總裁以下幹部會議を開き協議したが、永井拓相は三十日午後九時五十分私邸に齋藤首相を訪ひ民政黨の主張を再說し更に柴田翰長を訪問斡旋を求めた

開院式後に 持越す

【東京三十一日發】內務政務次官問題は本日の閣議でも政民兩黨の主張讓らず遂に開院式後に持越す事となった

五國豫備會議に 佛、伊兩國同意
英、米は反對の模樣

【パリ三十日發】上海事件の善後策として日本の提案したる東京における英、米、佛、伊關係四國大使の豫備會議の開催及び上海における圓卓會議の開催に對しフランスは同意しイタリーも亦贊成してゐるが、イギリスはアメリカ側の反對態度に影響され不贊成の模樣である

◇…きのふ鞍山製鐵所視察の聯盟調査團一行…◇

滿洲國の委任統治說など ナンセンスな浮說だ
リットン卿近く聲明

ランプソン英公使の聯盟調査委員長リットン卿との大連における會見において兩氏は滿洲を聯盟の支配下におき張學良を委員長とする日支兩國によって構成せる新政權の手に委ねるとの案を作成し聯盟の勢力を實質的に東洋に扶植せんとするが如き申し合せをなした如き說が傳へられ二三新聞にも掲載されてゐるが、右に對してリットン卿は卅一日午前十一時半ヤマトホテルにおいて語る

實にナンセンスな浮說だ、何度もいった通り自分とランプソン公使との會見は全く私的のもので、**滿洲の問題には全然觸れなかった**ことを斷言する、新聞紙に傳へられた該記事を飜譯して貰ってこれに對して聲明書を發表することにしやう

米委員マ將軍談

米委員マッコイ將軍にこの報を齎せば

諸君は自分に大變なニュースを提供してくれるものだネと呵々一笑に附した

認識不足な 一片の浮說
吉田參與員談

日本參與員吉田大使は右の浮說に對して語る

リットン卿が大連においてランプソン公使との會見でかくの如き打合せをなしたといふ如きことは考へられないことだ、第一滿洲の現狀を知ってゐるものは今さら張學良が滿洲に來れないことは百も承知してゐるだらうし、聯盟が性質上かくの如き問題に容喙する筈がない、笑ふべき浮說だ【奉天電話】

ハース氏等 けふ北平へ先發

調查團書記長ハース、鐵道專門家バイヤル兩氏は三十一日午前六時五十分發奉山線にて一足先に山海關經由北平へ赴いた、なほセルト、セネール氏ら二三隨員も委員と分れて三日中に大連經由北平に赴く筈【奉天電話】

內田總裁の 說明要旨
英文飜譯を急ぐ

內田滿鐵總裁は廿八日午前聯盟調查委員と會見後、直に說明要旨を英文に認めてゐたが、卅日は午後六時すぎまで總裁室に居殘り卅一日も午前中自宅で執筆完成を急いでゐるなほこれ等の說明書は調查委員一行に郵送されるか或は東京において總裁が調查委員一行と再會の際手渡されるものと見らる

事態惡化の場合は 何時でも出動
植田〇團長の聲明

【上海三十日發】植田〇團長は愈々三十一日午後二時滙山碼頭出帆のりばぷーる丸で凱旋するに決し、本日**「內地で待機し、今後若し事態惡化の際は何時でも出征する故居留民は安心されたい」**とのステートメントを發表した（寫眞は植田中將）

軍規肅正の聲明は 統帥權干犯となる
荒木陸相、閣議で主張

【東京三十一日發】不祥事件に關連し齋藤首相は臨時議會の施政演說中に「軍規の肅正については極力努力する」といふ意味を挿入する事とし、此旨三十日の臨時閣議に諮った處、荒木陸相は首相がその施政演說中において首相自らが軍規の肅正をなすといふが如き立場において聲明する事は**國務が統帥權を犯す事となる**、卽ち統帥權の干犯となる惧れがある、軍規の內容には陸軍大臣の個々に對する軍政上の監督と、天皇に直屬する軍司令官、師團長等の軍隊に對する純統帥上の監督權、指揮權の二ありその內容は極めて複雜であるから左樣な簡單なる意味において首相が聲明すべきものでないとする意味を力說して極力反對したので、首相も一先づ保留する事とし、小磯次官、山岡軍務局長、柴田翰長、堀切法制局長官等と事務的に折衝一致點を發見する事となった、右に關し陸軍側は荒木陸相の留任は統帥權の確立といふのが最大問題の一であるから飽くまでやるといってゐる

陸相翰長協議

【東京三十日發】三十日の閣議で齋藤首相は施政方針演說中に軍規振肅の一項を加へる事となったので、荒木陸相は首相官邸に小磯次官を招き、柴田翰長と共にその善後對策につき重要意見の交換をなした

外務政務官は 決定

【東京三十一日發】外務次政務官東郷實氏に、同參與官は澤本與一氏に決定

貴族院側の 政務官

【東京三十一日發】貴族院出身政務官四名を詮衡すれば

海軍次官　伯爵　堀田　恒（研）
陸軍次官　子爵　土岐　章（研）
農林次官　伯爵　有馬賴寧（研）

その他に公正會矢吹省三男の政務次官と同和會田昌楨男、參與官の中一名であるが、なほ南遞相は外務次官を政友より更に參與官は貴族院の研究若しくは交友俱樂部より採用の意向と觀られてゐる

陸軍政務官 柴田翰長に一任

【東京三十日發】陸軍政務次官銓衡につき荒木陸相は三十日の閣議後、柴田翰長と懇談の結果、柴田翰長に一任した

施政演說內容 を奏上

【東京三十一日發】齋藤首相は卅一日午後二時參內、天皇陛下に拜謁仰せつけられ六月三日臨時議會で爲すべき施政方針演說內容について內奏、更に兼攝外相として外交方針演說概要及び對議會策も奏上、種々御下問に奉答御前を退下引續き高橋藏相も參內、同樣財政方針に關する演說內容を內奏、財界の現狀につき奏上御下問に奉答して御前を退下した

佐々木正秀氏

滿鐵鐵道部長村上理事は事變以來全く多忙な日を送り最近は殊に多忙を來し鐵道部の懸案解決と共にいよいよ事務的にも繁忙を增すため今回大阪鐵道局にゐた佐々木正秀氏が同理事の秘書格として滿鐵々道部に入社した

辭令【東京三十日發】
任內務大臣秘書官　明石德一郞

はるびん丸　一日午前七時十五分大連港外着の豫定

人事

▲富田啓吉氏（前大連民政署庶務課長）滿鐵に入社六月一日から總務部庶務課秘書係に勤務

上海派遣軍全部撤退
けふの前原〇團を殿りに

【上海三十日發】我上海派遣部隊は三十一日午後五時弘安丸にて前原〇團司令部以下を殿りとして全部撤退を完了する筈

【上海卅一日發】本日の凱旋部隊は午後二時滙山碼頭發のりばぷーる丸で第〇團司令部〇兵第〇隊第〇〇隊、〇〇〇〇隊、午後三時黃浦江碼頭發の諸威丸で第〇〇團司令部、第〇〇隊第〇〇隊、〇〇〇〇隊、〇〇〇隊、午後五時吳淞棧橋發の弘安丸で第〇〇隊本部並に〇兵〇〇隊が出發する、之を以て上海から陸軍は全部姿を消す事になる、殊に本日は代理司令官にして在留邦人の人氣を最も集めた植田將軍凱旋の事とて盛大な見送りが種々計畫されてゐる居留民は殆ど總出で最後の凱旋部隊の名殘を惜む譯である

陸軍關係の引繼
きのふ全部完了す

【上海卅日發】午後五時司令部發表＝我軍は本日吳淞鐵道機關庫及三友實業公司を支那側に引繼させり、之以て引繼地域の內陸軍關係の分は全部引繼を了せり

先發隊宇品着

【宇品三十日發】上海派遣軍司令部の凱旋部隊先發隊陶村高級參謀以下幕僚は三十日〇〇丸で宇品着上陸一路東京へ向った、卅一日午前東京着の豫定である

林駐墨大使六月 二日出發

【東京三十日發】新任ブラジル駐劄大使林久治郎氏は六月二日神戸出帆の筥崎丸でヨーロッパ經由赴任する事となった

滿洲國の東支 派遣員異動

【ハルビン三十一日發】東支鐵道主席理事李紹庚氏は滿洲國の對東支政策決定により滿洲國側東支派遣員の人事異動のため長春へ赴き種々打合せを待ったうへ歸哈したが、大體管理局副局長には伊里春氏、監督局長には律長康氏が任命される如くである

獨政府難關に 直面

【ベルリン三十日發】ブリューニング第三次內閣は三十日突如總辭職を決行した、右は九億マルクの財政救濟に關する大統領緊急令中の二、三の條項につき首相とヒンデンブルグ元帥との間に意見一致をみなかったためで、主としてヒンデンブルグ元帥の指示に異存を來したブリューニング氏が四度內閣を組織する可能性は殆どなく、ドイツ政局は今や全く難局に直面するに至った

ヒ大統領 兩黨首引見

【ベルリン卅日發】ヒンデンブルグ大統領はブリューニング內閣總辭職による後繼內閣問題に關し社會民衆黨領袖ルドルフ、ブライトシャイド博士及びボール、レーベ氏を引見したが更に國粹社會黨首領ヒットラー氏及ウイルヘルム、ゲーリング氏と會見協議した

ブ內閣辭職原因

【ベルリン三十日發】ブリューニング內閣總辭職の直接原因は失業問題解決策として大地主の財產の一部管理に關する政府案がヒンデンブルグ大統領の容認するところとならざりしためなり、しかし裏面的には各選擧區にヒットラー氏の勢力が盛んに喰入ったことによるものである

整理市吏員 退職金

大連市役所では行政整理の結果勇退した大久保財務課長以下二十七名に支給すべき退職金に關し退職死亡給與金規程に基き總務課において計算し且つ十年以上勤續者に對しては市會の協贊を必要とする關係上原案を作成中であるが、大體において大久保財務課長の十九箇年三月勤續で一萬五百八十八圓を筆頭とし、加藤書記の二十四箇年九月で七千八百圓を次位とし、總額五萬九千六百六十五圓に及ぶ見込みで、市ではこれを追加更正により近く招集の市會に提案の模樣である

滿鐵辭令（三十日附）
鄭家屯公所長　參事　菊竹實藏
依願免職
總務部勤務　事務員　小島憲市
鄭家屯公所長心得を命ず

滿洲國の聯盟支配、張學良の委員長說「陰謀でなくてナンセンスだ」と、リットン卿が然ういふから問題であるまい。

◇

血書の就職嘆願、悲壯には悲壯だが客觀的には就職戰術の一つとも見られる恐れあり、斯る眞似は斷じてしないこと。

◇

モウ立消えかと思った昭和製鋼所問題、敷地再調査と決定、又復煩い我田引鐵運動が起るだらう。

◇

いつまでも昭和製鋼所ではあるまい、一ッ景氣直しに滿洲製鋼所と改名しては如何。

◇

發電所の大爆音、時節柄物騒々々、どうかお手柔かに。

◇

物騒といへば復も留守宅の慘事、原因は何んにせよ、文明都市としての汚點がまた一つ。

滿蒙の戰慄（7）
直木三十五作　淺枝次朗畫

青い夜、黒い夜（三）

「泣いてないわ」
「眼が赤いぢやないか」
「兎だって赤いわ」
母親が
「お前、また、そんな——」
「泣くってことゝ、悲しいってことゝは、哲學上、ちがってゐるわよ。お父さん」
「そんな事は、何うでもいゝ、お前も、覺悟せえ」
「えゝ——その涙よ。勇ましい人生への門出を祝福した涙よ」
「祝福して、泣く奴があるか」
「感極まると、嬉しくっても、泣くわよ。ねえ中手さん」
「うむ」
「貴樣、喋ってばかりゐて、何うして行く、俺が、居なくなったなら」

上東は、娘の顏を、ぢっとみた
「それ、聞かないでれ——妾を、信じてゐて頂戴」
「信じろ、と云って、十九や、二十で」
「信じられないやうな娘をすて、滿洲へ行くお父さんは、罪惡だわねえ、中手さん、親は、子供を、扶養する義務があるわねえ」
「お前——平氣で、又、そんな理窟を、こね廻してゐて、戲談を、云ってる時ぢやあないよ」
「知ってゐるわ」
「妾にや、思案も、何にも無い。明日から、せっせと、手內職をする外に——」
そういふと、又、袖を眼へ當てた。
「叔父さん、一體、滿洲へ行って何うしやうと、云ふんです」

「俺か——」
上東は、煙草を、押しつぶして
「齢もとってるし、資本も無いし——あるのは、たゞ、一片、國を思ふの赤心だけだ」
「そんな——」
「まあ待て」
上東は、手を振って、中手の言葉を、止めて
「こんな言葉は古いが——中味が空っぽうのやうだが——中手、こんな社會に、俺がゐて、この齢で何ができるお前、この社會の現狀を見て、わしを使ってくれるやうな會社があるとおもふか。仕事があると思ふか?——何も無いだらう。今の日本の社會は、零だ。だが、滿洲は、何かゞあるかもしれん。無いかも知れんが、有るかもしれん。東京で、一ケ月間職を求めて、無駄な費用を費すくらゐなら、滿洲で、二ケ月間、放浪してきた方が、何かになる、さうだらう。無いってきまった所になろよりも——」
「理窟は、さうですが——」
「お前は、娘を、女給にでもしてそれと、恩給とで、俺に生活をしろ、といふのか?」
「さうぢやないですが——」
「かういふ時代に、恩給で暮す位人間として、恥づべき事はないぞ」
「そりや、さうです」
中手は
（こんな、退職軍人まで、相當の頭をしてゐる）
と、思った。麗子が
「お父樣」
と、聲をかけた。

わが生命線を護る 雄々しき覺悟

けふ獨立守備隊後期入營の 勇士、大連に上陸

赤い夕陽の滿洲で活躍すべく重大な任務を帶びたわが獨立守備隊後期入營兵一千百四十名は輸送指揮官獨立守備隊第五大隊附近藤亦男中尉に引率され三十一日御用船宇品丸にて來連、九番バースに繫留午前九時より上陸を開始したが、同バース廣場には市内公私機關代表者多數始め、男女各中等學校、青訓、鄕軍その他一般市民多數が滿ちて、勇士を歡迎すべく大旗小旗を

林立

させ、太鼓を高らかに打ち鳴らし、軍歌を叫び喜びに溢れて心から出迎へた、上陸した各兵士は各大隊別に黄紫青緑等胸章を附し、入營早々のこととて銃器を配給されず、卷いた毛布を肩にかけた姿は兵隊さんの一年生だが青訓その他で既に教育されてゐるだけに秩序整然として中には夏みかんの鞭をつけた二尺餘りの日章旗に一死報國、或は神州男兒等と大書して天ッ晴れ帝國軍人の面目を躍如させてゐる、上陸を終はるや市民を代表して小川市川は滿蒙現在の狀況を述べて

歡迎

の辭を述べ、これに對して新入營兵第三大隊の内田雄氏は後期入營兵總代として日本男兒としてこの滿蒙に出し帝國生命線の守備に當ることは眞に本懷とする處であり今後所屬部隊に配屬後は先輩士の指導と、在滿邦人各位の援とを得て、先人流血の跡を恥かしめぬ覺悟であります、既に母國を離れる時より報國の覺悟でゐます、決して期待に背きません

と決意を語り、又輸送指揮官中尉は

今回の入營兵は秋田、新潟とした、岐阜縣以北の建兒で心身ともに誇るに足るものであります、今後滿洲の時益々重要となり、又守備の當る上に高粱繁茂期等種々があリませうとも死を期して重任を果すことを信ずるのであります

上陸後直に關東倉庫に入つたが、卅一日は同所にて休養一日午前午後三回に分れて北上する筈である

海軍最初の 戰死者遺骨來る

けさ大連通過旅順へ

去る十九日某方面において雄々しくも悼ましい戰死を遂げた海軍特務少尉細川佳太郎氏の遺骨は卅一日午前八時大連驛着列車で到着した、海軍將士の最初の遺骨として悲しき凱旋を迎ふる大連驛頭には故勇士がかつて乘艦したことのある旅順警備驅逐艦朝顏の艦長中津少佐を始め條友及び各警察署長滿鐵、市役所等の代表者並に海友會その他各學校各團體等官民多數出

寫眞說明

【上圖】埠頭に上陸した守備隊後期入營兵【下圖】大連驛に着いた故川少尉の遺骨

五日旅順で 慰靈祭

遺骨水交社へ

細川海軍特務少尉の遺骨は卅一日午前十一時旅順驛着列車にて驛頭には安藤要塞司令官、旦務局長、永山市長を始め在六驅逐隊乘組員一同及び在關係一同、一中、高女、小童、市民多數はホームより堵列、鄭重なる出迎への應驛貴賓室に安置された後自動車にて水交社に入り正間の各方面より贈られた環の中に安置された、なは五日午後一時より海軍より行はれる筈

けふ白晝に沙河口で 慘忍極まる殺人

土木課傭人官舍で内緣の妻を 殺し兩眼を抉り拔く

陽も和やかな三十一日の眞晝、突如血腥い慘劇に巷間は噂の渦を卷き起こした、市内沙河口西町一七八土木課傭人住宅入江作諭の内緣の妻吉井せき(四二)が卅一日午前十時三十分頃自宅に於いて何者かに鋭利な出刃庖丁を以て殺害されてゐるのを折柄行商に來た野菜係やが發見直に所轄沙河口署に急報したが係官急行取調の結果犯行は同十時十分頃行はれたものらしく被害者せきが奥六疊の間にゐる所へ闖入し矢庭に兇器を揮つて後頭部を切りつけ被害者は抵抗を續け乍ら表玄關に逃げんとしたが追ひ迫つた第二の兇器はせきの左頸動脈を見事に切斷しアッと云ふ間もなくその場に西向に俯伏て斃れてしまつたものである、この間僅かな時間しか要しなかつたもの、如く推定されるが、犯人は更に被害者の兩眼をくり拔き前齒の總入齒を拔き取たる上悠々奥の簞笥を下から全部明け放ち掻き廻した上玄關より西に向つて逃走した模樣である、現場は全く血の海で凄慘なる光景を呈してゐるが現場に遺棄された兇器の出刃庖丁は外部より持込まれたもので犯人はゴム裏の地下足袋をはきその足跡は判然と印されてゐる

つて犯人の捜査に當つてゐるが強盜か殺人か——現場に遺棄された兇器の出刃庖丁は外部から持込まれたもので最初から

殺意

のあつたものとも見られるが附近の人の話では兇行三十分位前までは被害者は洗濯をしてゐたと云ひ食事をした跡もあり或はまた犯人とは兼て知り合ひの中にて對談中兇行を演じられたものかその點判明しないが近所では

檢證

を行ひ所轄沙河口署に手配目下嚴重犯人の捜査中である【寫眞は被害者】

原因は痴情說有力

短時間に巧妙な兇行

慘劇のあつた土木課官舍

溫和な人 氣受の良い

隣家の妻女談

濼家屯工事場へ 出張し不在勝ち

急報で歸つた夫語る

原因が判らぬ

被害者の姉語る

愛郷塾主秘書を 護送し歸京する

警視廳から來長中だつた 農民決死隊捜査班

飽までも 對抗する

寺島氏憤慨

上海の虎疫 益々猖獗

二日で十二名

再擧のブ機 給油に失敗墜落

機體から突如發火し 搭乘者は落下傘で無事降下

發火原因は 給油作業

飛行場當局談

兩氏の遭難談

日芬對抗競技會 今秋日本で擧行する

陸上競技聯盟で決定

營業方針から 入場を拒絕

ホテルから寺島氏に 通告し遂に正面衝突

拉去された 所員の所在判る

賊は頭目北國の部下

遂甲縣城の 危機去る

飛機の出動で

呼海線の被害

人絹を摑ます

女工で二萬圓貯蓄

武門血笑記 (160)

下村悅夫作　布施長春挿畫

政變(三)

三田四國町の島津家の上屋敷、俗に云ふ薩摩邸の廣間に集つた十四五人の大一座。

正面には留守居役の篠崎彦五郎を始め、益滿休之助、伊牟田尚平などの薩藩の利者が控へて、あとは、薩邸に隱れてゐる勤王浪士の頭分、または江戸市中に潜んでゐる勤王黨の主だつた面々で、末座に近く、武士姿の白井作樂の顏も混じつてゐる。

一座は先程から、ひどく興奮してゐるやうな激越な調子で、眉を上げ、口角泡を飛ばして、互に何か論じ合つてゐる。

「土佐が何ぢや、山内が何ぢや、今更大政返上などをされて堪るか、いらぬお節介ぢや」

浪士の一人が叩きつけるやうに云ふ。

話は、京の二條の城に居る將軍慶喜へ土佐の山内容堂が大權返上の旨を奉つた事を指してゐるらしい。

「幕府の武威も全く地に墜ち、朝敵の罪狀も明白な今日、政權返上位で將軍の罪を許しては禍根を殘すやうなものだ。斷じて討幕の一本槍で押さなければいけねえ」

「さうぢや、ぐずぐずして政權返上でもやられたら、朝敵の名目を失つて、却て面倒」

「京都の連中は何をしてゐるんだ」

「やらう、この機を逸せず我々の手で火蓋を切るんだ」

「江戸城を燒き拂へ」

「幕府の軍勢が何んだ、長州征伐の態を見ろ」

「諸侯の向背も、それに依つて決すると云ふものだ、今に及んで逡巡する必要が何處にある」

「江戸城に火をかけろ」

浪人達は熱狂して、手を振り、眼を怒らして捲くしたててゐる。

「待て、待たれい、諸君の意のある處はよく解つてゐる。だが、大政返上の建白書の件は、知つての通りやつと今朝知らせがあつたばかり、京都の樣子も解らぬ、もと〳〵我等の使命は諸君と一心同體ぢやぢやが幕府に賊名をきせる爲めには天下の人心が納得出來るやうな手段と時機を選ばねばならぬ、この點西郷からも呉れぐれ注意があつた。斷行は何時でも出來る、天の制裁は我々の手に委ねられてゐる。此上は京都から次の知らせがくるまで待つても遲くない、輕擧妄動は、國家の大事の前に愼まねばならぬ」

篠崎は流石に一藩の束ねをするだけあつて、落付きのある嚴かな口調、しきりに一座の者を宥めてゐる。

「いや、太夫のお言葉ぢやが、その姑息な手段が、今迄の我等の運動を誤らしたのぢや」

浪士の一人が執拗に抗辯する。

「急くな、急くな、手出しは向ふにやらせる事つた、始めからの西郷の腹ぢや、でないと賊名を附けて討幕の勅書が出にくい。一旦錦旗が飜へれば、もう機運は熟してゐるのぢや、急ぐ事はない、西郷も、大久保も、桂も、一心同體ぢや、きつと今に諸君の溜飲を下げるやうな、吉報をよこすに違ひない、急くことはねえ」

と、休之助は、砕けた江戸前の快活で、苦勞人らしく、苛立つた浪人どもを柔らかに押へた。

「それに就いて」

と、彦五郎は、一座の少し靜かになるのを待つて先程から默念として控へてゐる作樂の方に視線を向け、

「これにゐる白井氏」

と、何事か樣子ありさうな口調で、一座を見廻した。

「目と耳の夕」 四、五日のプロ

滿洲新見所主催の基金募集慈善演奏會の「目と耳の夕」は來る四日夜及び五日晝の二回協和會館で開催されるがプログラムは左の如くである

一、舞踊「春の聲」稻垣滿壽子、大政喜代子、澄田靜子、山井まき子、山領眞美子、唐澤悅子、早川マリア、川井愛鶴
二、舞踊「囚人」田中佐々市
三、舞踊「ラモーナ」
四、民謠舞踊「茶摘唄」稻垣滿壽子大政喜代子
五、アツクロバテイツクダンス 和田昌子、片山君子
六、舞踊「ミネトンカの湖畔」柳木龜二郎、吉川正子
七、民謠舞踊「濱の踊り」稻垣滿壽子、大政喜代子、澄田靜子、山井まき子、山領眞美子、唐澤悅子、早川マリア、川井愛鶴
八、獨唱(イ)題未定(ロ)無名戰士に獻ぐる歌 季勝和
九、ダンス「愉快な黑人」柳木龜二郎、吉井正子
△休憩十五分
十、清元「青海波」清元研究會連中 淨瑠璃小野鬼笑、岡崎、三味線清元延美佐榮、蜂島夫人
十一、尺八獨奏に依る新舞踊「寒砧」舞踊柳木龜二郎、尺八草崎主山
十二、舞踊「庭の千草」稻垣滿壽子
十三、舞踊「胡弓を彈く男」田中佐々市
十四、オリエンタルダンス「巫女の踊り」吉井正子、大政喜代子、澄田靜子、山井まき子、山領眞美子、唐澤悅子、早川マリア、川井愛鶴、片山千代子
十五、新日本音樂「都おどり」三絃福永大勾當、箏低音福森勾當、同高音木次初樂、尺八草崎主山、同辻泰正
十六、新日本音樂舞踊「春の宵」舞踊全員、音樂福永大勾當、社中一同

トレイダーホーン 常盤座上映

アフリカの猛獸映畫であるが、これは發聲であるためにアフリカの神秘境がありのまゝスクリーンに描き出されて、百獸の物凄い咆哮が素晴らしい迫眞性を盛つて戰慄味を傳へてゐる、またこれは單なる猛獸映畫でなくストオリイを持つてゐる

即ち交易商人として或は狩獵探検家として全生涯を殆んどアフリカで暮した英國人アルフレッド・アロイシアス・ホーンの體驗談を南阿の女流作家が單行本として出版した「トレイダー・ホーン」をMGMで映畫化したもので、日本では溝口歡子孃の飜譯がある

ストオリイはホーン(ハリー・ケリー)が舊友の息子ペルー(ダンカン・レナルド)と共にカヌーに乘つて西部奴隷海岸から大コンゴー河の上流地方に旅行し鰐、縞馬、麒麟、豹、ライオン、ハイナー、羚羊、犀に脅やかされ、幾度か危地を脫して進むうち、二十年前に土人に拉致された娘ニーナ(エドウイナ・ブース)をさがす宣教師の未亡人に出會ひ、數日後その婦人の死體を發見し、更らに進んでイソルギと言ふ蕃族の中で「白い女神」と呼ばれてゐるニーナを見付け、捕はれて拷問せられようとするところをニーナに救はれて共に死地を脫し遂に黄金海岸に出て、ニーナとペルーを都會に歸しホーンは一人淋しくアフリカに殘るまでを描いたものであるが、ストオリイには大分無理があるし、ニーナの扱ひ方も感心されぬところがある

しかしストオリイよりも錄音された珍しいアフリカの聲に興味が集中される作品である、猛獸の扱ひ方は別段さ程目新しくないが、土人の言葉と奇妙な歌と音樂と物凄い土人の喚聲がわれわれを全く新しい世界に引張り込んでトーキーの面白味が先づこの蕃人の生活に發見される

また猛獸映畫としても編輯は餘り感心されぬが、その出て來る各場面は聲を持つてゐるだけに物凄い迫眞力を持つてゐる、印象に殘る場面では犀が土人を[illegible]すところに始り、ライオンが縞馬を追ひかけ縞馬がライオンをひづめで蹴り乍ら逃げ去る珍らしい場面、鰐が土人を喰ひ殺す場面、羚羊を斃したライオンが鉈鎖で餌食を爭ふ場面等が次から次へと戰慄を覺えしめるが土人が木槍で見事にそのライオンを一擊の下に斃して娘を救ふ場面に至つてクライマックスに達し物凄いものがある

監督はヴアン・ダイクで土人レンチエロ(土人オムール)の扱ひ方は手に入つたものである、カメラマンは「南海の白影」のクライド・ド・ヴインナで移動や望遠レンズにある猛獸の捉へ方と共にジヤングルや河や空が一幅の繪畫としてクランクされてゐるのも見逃せない、そして何よりも音聲を持つ猛獸映畫として興味が倍加される刺戟の強い作品である

學生映畫デー トレイダホーン

大連滿鐵社員倶樂部主催の協和會館に於ける第三十五回中等學生映畫デーはトーキー漫畫一卷、「極東トンボ二人組」六卷「トレイダホーン」十三卷のプログラムで左の日割により開催されることゝなつた、三十一日午後六時半一中、二中、六月一日午後二時彌生、女技、家政、二日午後二時神明、女商、羽衣、同午後六時半商業、實業、遞信、鐵道、教習所、會費は二十錢である

チヤプリンの「街の灯」の交渉に上海へ行つてゐた映樂館の宮田技師の土産話によると▲チヤプリンの古い作品のネガを巧に編輯してデッチ上げた僞物の「街の灯」があるさうだ▲しかもその僞物が三千圓の呼び値だといふから馬鹿に出來ない▲映樂館の六月プロのうち「火の山」や發聲版の「西部戰線異狀なし」がある▲常盤座の小泉友男氏は七月プロの編成其他の用件で近く内地へ行く豫定である▲帝國館のトーキー興行はいよいよ底拔け景氣で月曜日もガタ落ちがせずまだ頑張つてゐる▲滿洲詩人近東綺十郎氏らの提唱で「星紀座」といふ新劇運動の團體が新しく生れた▲石井漠舞踊團から滿鐵社會課の斡旋で近く來滿する旨の挨拶狀が來たが▲滿鐵では寢耳に水で一向樣子が判らず、火元はどこだと社會施設係で目下搜査中である

本社特選 新棋戰【其五】

香落八段△土居市太郎
六段▲飯塚勘一郎

【圖は七六角迄の局面】

▼飯塚氏 持駒 なし

△土居氏 持駒 歩歩歩

△三八銀 ▲九八歩成
△七七桂 ▲八八と
△五八金左 △七八と
▲六五桂 ▲三三銀
△九五歩 ▲九二飛
△七九歩

【土居八段講評】飯塚君の七八とは漸次活用の意味なれば手段としては可なるも、目下の狀態は飛車の頭が重くその爲め防戰に支障を及ぼすから九九香成と指して早く飛車を侵入して置く方が攻防ともに得策である。上手七九歩打は敵若し同飛なら七三歩と打つて攻勢を採らうとの意味である。

滿洲日報
(明治卅八年十二月廿五日第三種郵便物認可)
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本富代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月金一圓二十錢 郵稅金十五錢 一部賣金五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算

紛糾の內務次官問題
けふ院內閣議で解決
首相は內相の主張を認めて
政友會を說得の方針

【東京卅一日發】內務政務官問題は卅日夜政民兩黨の妥協成らず卅一日に持越されたが、閣議に先ち齋藤首相は三土鐵相、永井拓相、山本內相、高橋藏相等と個々に面接懇談したが、政友會出身閣僚は容易に讓步せず山本內相又絕對的態度を持つて政友會の主張を排し結局完全な意見一致を見るに至らず午前十一時半からの閣議に臨んだ、なほ政務官の決定は明一日開院式後院內に臨時閣議を開き決定することゝなり又復延期の已むなきに至つた、しかして齋藤首相は山本內相の態度强硬さその主張の妥當性を認めゐるため極力政友會の說得に努める方針である模樣でなほ齋藤首相は一日院內閣議で決定する見込みをつけてゐるが、午後一時からの政友會の幹部會の態度如何では齋藤首相の希望通りに行かぬかも知れず成行重視されてゐる

比率で政友の主張通り
內務次官を讓步す
妥協成つた政務官問題

【東京三十日發】紛糾せる政務官問題に關しては本日の閣議前に齋藤首相より政民兩黨出身閣僚に說得する處ありしも容易に承服するに至らず、其まゝ閣議に臨んだが齋藤首相は先づ政務官割當比率は政友十二、民政貴族院合せて十二(民八貴四)の豫定を以て詮衡したき旨を述べたが此時內務次官問題に關し鳩山、三土兩相は政友會の主張を述べ是に對し永井、山本兩相反對し意見纏まらずこのため閣議は一時中止され政務官決定は三十一日の定例閣議に延期され閣議散會となつた、その後齋藤首相は鳩山、三土、永井、後藤の四相の居殘りを求め懇談後妥協を希望する處あつた

【東京三十日發】政務官問題は齋藤內閣最初の難關として憂慮されて居たが本日午後政友會の讓步に依り漸く解決を見た即ち本日の閣議後柴田翰長は鳩山文相、三土鐵相と會見し「地方長官は特に政黨色濃厚なるものゝみ更迭するも人事は大臣と事務官の間に於て處理し今後政務官の容喙は許さぬ方針」と述べ政友會の讓步を求めた結果政友會も是を納得し內務次官は民政黨に讓る事となつた、依て政友會は十二、民政貴族院十二の比率さし大藏、鐵道、文部三省は次官參與官共に政友會で獨占、內務、拓務兩省は民政黨で獨占するに決定した

高橋藏相に報告

【東京三十日發】閣議散會後齋藤首相は鳩山、三土、後藤、山本四相の居殘りを求め內務次官問題に就き協議の結果午後四時半三土鐵相は協議內容を齎して高橋藏相を訪ひ報告する處あつた

前閣僚御慰勞の思召を以て三十一日正午床次竹二郎、鈴木喜三郎、大角岑生、芳澤謙吉、山本悌二郎、秦豐助、前田米藏、川村竹治諸氏を召され、宮中千種間で午餐會を催され、梨本大將宮殿下にも御臨席、牧野內府、關屋次官、鈴木侍從長、奈良武官長その他參列陪食仰付けられた

政民の確執解けず
首相の裁斷重視さる

【東京三十一日發】內務政務官を繞り三十一日の閣議では政民の確執解けず政友會は午後一時より總務會を開き最後の態度決定につき愼重協議を重ねた、若し政友會にして讓步せず既定方針通り邁進することに決すれば閣議で黨出身閣僚はサインを拒む事となり重大なる結果となるが齋藤首相の裁斷如何は重視されてゐる

選擧法改正案更に調査

【東京三十一日發】選擧法改正については前政友內閣は議會政治の確立と、選擧費低減を主眼として比例代表法制定並に區制改正等現行普選法の大改正案を今議會に出す筈になつてをり、現內閣は右改正に對し如何なる態度を執るかは注目されてゐるが…

政民兩派の決定した政務官

【東京卅一日發】政友會の決定した政務官左の如し

官職	氏名
外務政務次官	瀧 正雄
大藏政務次官	堀切善兵衞
同參與官	上塚 司
司法政務次官	石坂豐一
文部政務次官	東鄕 實
同參與官	川島正次郎
陸軍參與官	石井三郎
海軍參與官	岩本武助
商工參與官	松村恒三
遞信政務次官	志賀和多利
鐵道政務次官	名川侃市
同參與官	板谷順助

民政黨の決定せる政務官左の如し

官職	氏名
內務政務次官	齋藤隆夫
同參與官	勝田永吉
拓務政務次官	堤 康次郎
同參與官	木村小左衞門
海軍政務次官	添田敬一郎
商工政務次官	岩切重雄
農林參與官	松村謙三
司法參與官	澤本與一

定例閣議

【東京三十一日發】卅一日の定例閣議は午前十一時半開會齋藤首相より本日決定すべき豫定だつた政務官は一日の院內閣議で決定すべきことを報告し政務官以外の事務官の政府委員を詮衡決定し一日政務官決定と共に發令することに意見一致し正午散會した

施政外交方針の
演說草稿閣議で決す

【東京三十日發】三日の議會開會劈頭の兩院本會議に於てなすべき齋藤新首相の施政方針外交方針演說草稿は三十日の臨時閣議で決定したので首相は三十一日午後二時參內內奏次いで外交方針財政方針も內奏する事となつたが施政方針演說草稿の大綱は對支滿蒙政策の確立人心不安の一掃政界の淨化軍規振肅の四項目よりなり財政經濟殊に財界の不安の除去農村問題等は人心不安一掃と關係あるを以てこの項で述べ又政界淨化の中に選擧法改正の必要なる所以を抽象的に示してゐる又外交方針の內容は對支滿蒙問題の經過並に今後の方針を詳述し更に國際聯盟並に一般外交關係を述べてゐる

前閣僚御慰勞午餐會

【東京三十一日發】天皇陛下には…

首相の演說問題は
軍部と折合ひつく
小磯次官と政府協議

【東京三十一日發】小磯陸軍次官は三十一日午前九時半柴田書記官長、堀切法制局長官を歷訪し軍規肅正に關する首相の施政演說草案が統帥權干犯となる懼れある點に就き協議したが大體兩者の折合がついた模樣である

具體化した日銀改革案
東京支社 T F 生

今臨時議會に政府より提出すべき案件は、重要案件なしとせば、日銀制度改善案、關稅の一大改正、不動産資金化案、補償生絲處分問題、土木事業遂行案等であるが、今議會の中心問題は更に經濟問題であり、各派名士の論戰もまた主としてこゝに重點を置くものと觀られてゐる、右のうち日銀制度改善案は金融上に及ぼす影響甚大なるものがあり、その內容について一應の考察を試みて置くことは決して無用のことではなからう

日銀制度改善案の骨子とも見るべき點は

一、保證準備制限の擴張
二、制限外發行稅の引下げ
三、日銀內に諮問機關として參與會を設く
四、保證準備發行稅を廢し納付金制度を設くる

從つて
一、日本銀行條例中改正法律案
二、參與會設置に關する法律案
三、納付金制度に關する法律案

の三法律案が提出せらるゝ

イ、日銀條例改正案の內容

一、保證準備制限額を現行の一億二千萬圓より十億圓に擴張すること
二、制限外發行稅を五分より三分に引下げること

現行兌換銀行券發行條例によれば…

わが國の發券制度は全額の金準備發行、一定額の保證準備發行、大藏大臣の認可を得て行はれる制限外發行の三段構へとなつてゐる、しかして現在の兌換銀行券即ち通貨は十億七千二百萬圓で正貨は四億二千九百餘萬圓であるから、これから見ると現在流通して居る兌換銀行券は正貨準備發行に依るもの四億二千九百萬圓、保證準備發行に依るもの一億二千萬圓、差引五億二千三百萬圓が、大藏大臣の許可を得て發行される制限外發行額といふことになる、右の如く現在においては制限外發行高は總兌換銀行券の半額以上を占めてゐる、しかるに財界が發展するに伴つて通貨の需要量も年々增加し、保證準備制限額を擴張しなければならなくなつて來た、殊に現行の保證準備發行限度は遠く明治三十二年三月に定められたので、その後の經濟界の變化の點から觀てもこれを擴張するの必要があらう、なほ何程に之を擴張すべきかといふ點については種々の議論もあるやうであるが、大體現在の財界の實情から推測して通貨の流通高は約十四五億圓を適度とし、わが國の正貨は將來四億圓を維持するものとして遂に保證準備發行の限度を一億二千萬圓より十億圓に擴張することに決定した、次に現行法に依ると制限外發行稅は年五分以上(日步約一錢三厘七毛)になつてゐる從つて日本銀行は制限外發行に依る銀行券については少くとも日步一錢四厘以上に貸出さればならない、しかして日銀の公定割引步合が最低一錢四厘といふことになれば、日銀から之を借入れた市中銀行は一錢五厘以上で貸出さねば利鞘が取れないといふことになり、その結果は自ら市中は高金利に支配され、產業資金も高利のために事業界も不振に陷る結果になる、こゝに於て今回制限外發行稅も五分より三分に引下げることになつた譯である

ロ、參與會設置に關する法律案

日本銀行は中央銀行として常にわが國金融界の統制に當るべき重要の地位にあるがその職責を果すためにはどうしても民間經濟界との接觸が必要といふことになる、その趣旨に基いて今回日銀內に新に參與會を設置することゝなつたがしかしそれは直接日銀の業務を掌するものではなく單に日銀をアドヴアイスするための諮問機關であり、民間銀行家、實業家、學者中より五名乃至十名選定せらるゝことゝなつてゐる

八、納付金制度法律案

納付金制度を設けんとする趣旨は日銀が保證準備發行稅を政府に納める代りに營業利益の一部を國庫に納めしむるにある、卽ち日銀は國家の中央銀行としての重責を負ふてゐる代りに國家から兌換銀行券發行の獨占權を始めその他の特權が與へられてゐるからその利益の一部分を國家に納めるといふことは寧ろ當然のことである、しかして納付金制度案の內容は大體左の如きものである

一、總利益金の十分の一を法定積立金として差引く
二、殘額から第一株主配當として年六分を差引く
三、右の殘額の二分の一を第一政府納付金として國庫に納付す
四、更に右の殘額から第二株主配當金として年四分を差引く
五、右の殘額の三分の二を第二政府納付金として政府に納付す
六、殘額は諸積立金、重役賞與、後期繰越金に充當す

滿洲國の急務は自動車道路建設
滿電長春支店長 原口純允

私は極めて短い期間ではあつたが過去において自動車營業にタツチした經驗からして滿蒙新國家における自動車道路網の完成の必要について機會ある每に各方面に主張して來たものであるが、最近の新聞紙において新國家の自動車道路網計畫が着々として進捗しつゝあるとの報道に接し誠に欣快に堪へないものがある。

私はこの新興滿洲國にとつて、今日何よりも必要なことは治安の維持であると考へる、之は恐らく何人も異存の無いところであらう。何となれば之なくしては滿洲國建設のそもそもの意義が失はれるのみならず資源の開發、產業の勃興等も實現せしむるに由ないからである。

然らばこの治安の維持、資源開發產業勃興の爲め根本的解決の鍵は何か。私は躊躇せずして速答する即ち「自動車道路の建設にあり」と。自動車道路としては

(一)鐵道に代るもの
(二)鐵道の培養線としての役割を持つもの
(三)都市を中心としてのサバーバンバス道路
(四)シテイーバス道路

等が考へられる。その存在の意義が何であれ、その交通運輸事業上に占むる重要性に就ては縷述するまでもない。私は滿洲の特異性より更に次の二方面の利益を强調しなければならない。

(一)匪賊討伐上の便宜より
(二)產業道路としての見地より

先づ匪賊討伐上の便宜について考ふるに、某地點に匪賊來襲の急報があれば卽時救援隊として大小部隊を、或は裝甲自動車隊を最も安全に、最も迅速に派遣し得、その被害は輕減せられるであらう。斯くして匪賊はその出沒可能範圍を狹められ結局はその存在を拒否せらるるに違ひない。

次に產業道路としての效用を考へるに、滿蒙三千萬民衆の大部分を占むる農民は極めて粗笨的なる農法によつて得た生產物を冬期道路の氷結を待ち蜿蜒數千百里の里程を馬車により都會へと運んだのであるが、この自動車の利用により最も低廉なるコストにより、最も速かに消費地に配給することを得ることとなり、需要の增大は結局供給量を增加せしめ、農民は爲に潤ひ農民時代到來の盛代を齎くに至るであらう。又輸送方法のスピード化は自ら彼等の耕作方法にも或は耕作品種にも何等かの本質革命を齎らさずには置かないであらう

は、今日最早何人も意見を挾む餘地は無いのであるが、然らば誰を使役工事せしむるか、資金を何處に求むるかに就き行惱みがあるのではないかと考へられる。私の考へる處によればこの道路建設に使役する人夫に就ては、投降匪賊を當らしむるに如かずと思ふ。匪賊の大部分は或意味からいへば食ふに道なき失業者群である。此等の自由勞働者として使役せしむるもよし、過去の罪障の代償として賦役せしむるもよし、何れにせよ失業者救濟となり、社會政策的見地よりするも時宜を得たる方策なりと信ずる。暴なる匪賊を良民化するといふことは、匪賊討伐に對する消極的便法ともなる。かく見るとき自動車道路建設は一石二鳥或は三鳥の絕妙の方策といへるのである。

次に最も多くの人が頭を痛めてゐる融資問題については、私は彩票の發行により比較的容易に解決せられるのではないかと考へる。彩票の利害或は害毒については議論の多い處であるが、私はそれが國家の手によつて國家の統制の下に行はれるときは、その弊害の多くは除かれ、最も簡單にして最良の融資方法と化すると考へてゐる。それも當然考へられることではあるが、內債、外債による資金調達、それも國民全般の投資による資金こそ最も望ましいものではないだらうか。之は必ずしも自動車道路建設の爲のみの融資方法としてではなく一般資金調達法としても一考の價値ある事だと思ふ。

私は滿洲國自動車道路が治安維持のため、その產業開發のため何を措いても先づ實行に着手せられんことを切に切に翹望する次第である(昭七、五、二八)

閣議決定人事

【東京三十日發】閣議決定人事左のごとし

任東京美術學校々長(二等) 和田英作
任教授(二等) 東京帝大助教授 富塚 清
依願免本官 京都帝大教授 矢野 仁一
東京美術學校教授

荒木陸相上原元帥訪問懇談

【東京三十一日發】荒木陸相は三十一日午前八時半上原元帥を訪ひ現閣に對する陸軍の希望、不祥事件の處置、軍規肅正、滿蒙對策等につき懇談九時半辭去した

後繼候補者

【ベルリン三十日發】後繼內閣首相決定には早くて今週中頃か週末でなければ決定しない模樣なるが有力な候補者は前國民派カール、ゲールデレル氏、元國防相オツトー、フエスレル氏、東プロシヤ大地主代表オスカー、フオンデル、オステン氏、國民派ウイルヘルム、フオンガイル氏等である

視察を終へた調査團の最終報告の作成地
支那は北戴河、日本は靑島を推薦
結局ゼネバに落着か

聯盟調査委員は愈々五十日間の滿洲視察を終つて四日奉天發、北平に向ふが北平には約二週間滯在の豫定で、茲において最終報告作成の準備のため今まで調査した資料を專門委員が整理にかゝり、纏められた資料に對して調査團初めての委員會を開催、各委員の意見交換が行はれる、而してこの纏められた資料を持つて日本に行き、日本側の心證を求めるものである、しかるのち最終報告作成着手となるが最終報告作成の地について支那側は極力北戴河を主張し、學良は既に北戴河に電話電燈の施設などなし調査團宿泊の準備を整へあらゆる方法を以て調査委員を勸誘せんとしてゐる、日本側はこれに對して最初最終報告作成の地を大連星ケ浦としてゐたが、現在委員側は星ケ浦には不賛成なるため靑島を候補地として委員側に申出てゐる、この結果、最終報告作成の候補地については日支兩國各々要求してゐるため委員のあるものは日支兩國の爭ひを避けて最初の豫定を變更し、ゼネバにおいて最終報告を作成せんとする意見を有してゐる【奉天電話】

調査團奉天着
北平行は四日

聯盟調査團一行は三十日午後七時二十分奉天着、ヤマトホテルに入つた、奉天滯在は五日間の豫定で一日に撫順炭礦視察、二日本庄軍司令官と會見し、四日朝奉天發、…

製鐵所を視察
三十日の調査團一行

錦州視察の上、直に山海關經由北平に赴く筈【奉天電話】

三十日朝大連を出發した調查團は午後三時三十分鞍山着、富永製鐵所次長、梅根製造課長らの出迎を受け、驛より構內列車に乘換へ製鐵所に入つた、委員は伍堂所長より貧鑛處理の說明をうけてのち、製鐵所工場を視察した、世界に誇る貧鑛處理の完備せる施設に驚き更に自動車にて五百屯のキヤパシチイある第三熔鑛爐に至り熔融せる銑鐵の火花を散らして流れ出る壯觀を眺めながら委員は伍堂所長より銑鐵生產の詳細なる說明を聽き五時十分驛に到着、同三十五分發各學校・官民見送りの裡に鞍山發奉天に向つた【鞍山電話】

デニー氏の專門的調査

鞍山製鐵所視察に來た調査團隨員デニー氏は三十日鞍山に殘り特に富永次長、梅根製造課長より製鐵所の專門的說明を聽取することゝなり、三十日夜は製鐵所俱樂部に泊り、特に勞働問題につき說明を聽取する筈である【鞍山電話】

けふ撫順を視察
調査團一行の日程

リツトン卿以下八十餘名の聯盟調査員一行は滿鐵沿線最終の地として一日來撫左の日程にて炭都撫順を視察するが市內には歡迎ポスターが貼られて色めき、鮮農代表、縣農會は陳情準備を、炭礦事務所では案內手筈を終へ一行の到着を待受けてゐる、なほ撫順署では最終地だけに萬全を期してゐる

午後零時十分撫順驛着、自動車にて炭礦長社宅に入り午餐、土產選定、同一時半炭礦事務所にて事業一般の說明を聽取、同二時四十分電車にて製油工場へ、同三時半古城子露天掘へ、同四時五十分撫順發奉天へ【撫順電話】

武名中外に轟く植田師團長・凱旋
三十一日上海を出發し
軍人の覺悟を物語る訣れの言葉

【上海三十日發】軍司令部發表=派遣軍代理司令官第九師團長植田中將は三十一日午後二時匯山碼頭發リバープール丸にて凱旋する

【上海三十日發】植田師團長は本日午後五時記者團と正式會見を爲し明三十一日凱旋するに就き感想を左の如く語つた

軍人としても個人としても非常な御世話になつた自分も步ける樣になるからまた御奉公が出來さうだ軍人が戰場に來た以上負傷する位は覺悟の前だから自分の負傷位何んとも思つてゐないが軍司令官を失つた事は深く責任を感じてゐる

尙記者一同は白鶴御酒の杯を揚げて將軍の健康を祝すると將軍は「もう少し繼つと步けるのだが足を使ふと繼目が破れさうな氣がしてのう」と餘裕ぶりを見せ頗る元氣である

凱旋の歡迎をして呉れるといふ事だから兵隊だけでも歸して凱旋させて喜ばし度いと思ふ、白川司令官の不幸に就いては何さもいふ言葉が無い上海滯在中居留民が慰めてくれた芳志に對しても言葉が無い

何の顔を下げて……
植田師團長談

【上海三十日發】明日代理司令官として第九師團全部隊を率ゐ凱旋の途に就かんとする植田師團長は第九師團司令部で特に記者に對し語る

自分は最初に來たので初めから獨力で第九師團だけで片付け度いと望んでゐたが永延くので增援部隊といふ事になつた、然し初めて來た以上殘りも自分にやらせて貰つて立派に後始末し度いと思つてゐたところあのやうな始末をし出かし今は何の顔を持つて歸れやうかさいふ氣がしてゐる、然し故國では大變な…

植田師團長に聖旨を傳達
侍從武官赴阪

【東京三十日發】上海方面で赫々たる武勳を表した植田師團長は幕僚を從へ四日大阪入港退き湯ではさる旨三十日御沙汰あらせられ阿南武官は二日東京發大阪に赴き植田師團長に聖旨を傳達する筈である

正午爲替不變

【神戶三十日發】對外爲替正午不變、氣配は輸入取纏め皆無にして輸出ビル出廻り弗々加はり弗買ボンド買傾向强くアメリカの金輸出禁止懸念濃厚に更に引締り模樣を呈してゐる

海軍次官留任か

【東京三十日發】海軍政務次官堀田正恒伯は留任の模樣である

社説

六十二議會の開院

内閣の弱點　首相の失策

思掛けなき政變の爲めに延期せられた第六十二議會の開院式は、愈今一日を以て行はるゝこととなつた。世間周知の如く、今次の議會は既に前内閣によつて召集せられ、之に提出すべき政府案も亦前内閣に於て大體決定してゐたのである。然るに其後の急變の爲めに前内閣は突然崩壞し、之れに代つて現今の齋藤内閣が組織せられたものである。然るに現齋藤首相は、新内閣の組織に當つて、大體前内閣の政策を踏襲することゝし、此の方針の下に各政黨と交渉し、此の諒解の下に閣僚の詮衡を爲し、又之れを目的として謂はゆる擧國一致内閣を組織したものである。固より齋藤首相は公式に此事を發表したる譯ではないが、吾人は當時の情況に徵して斯く推測する。世人の多くも斯く推測する。而して若し此推測に大過なしとせば、今次の臨時議會の無事に經過すべきことは豪の疑を容れない所である。

◇

のみならず今次の臨時議會は恐らくは從來の如き喧囂を避け得ることゝ思ふ。從來の議會、更に精確に云へば、近來の衆議院は、肝腎の議案の審議考覈には、餘り努力することなく、徒らに紛擾、徒らに喧囂、徒らに怒號、更に亂暴や鬪爭に多くの時間を費やし、之れを以て餘り長からざる會期の大部分を空費するが例であつた。されども彼等は既に擧つて現内閣を支持することに同意した。而して大體前内閣の決定せる方針を踏襲することに内諾を與へて居る。更に適切に云へば、從來憲政常道論を強調し來つた政友會も、民政黨も、双方とも今回の超然内閣の前に降伏して了つたのである。隨つて彼等は唯だ齋藤内閣の政綱政策を承認し、謳歌し、其の提出議案に協贊を與ふれば夫れでよいのである。臨時議會に於ける彼等の任務は、夫れで盡きるのである。故に彼等は最早や從來の如く議場に於て摑み合ひの喧嘩を爲すの必要を感じないのである。從つて今次の議會こそ、我衆議院の特色?を發揮することなく、極めて平凡裡に經過することゝ思ふ。而して吾人は久し振りにて議會らしき議會を見得るであらうと推測する。

◇

但し此狀態は餘り長く繼續するものではあるまい。恐らくは單に此の臨時議會だけに止まることゝ思ふ。かくて此臨時議會も滯りなく終了し、其後各大臣が暑中休暇を利用して其の恒例の如く一通り地方巡業を濟了し、然る後次の通常議會に提出すべき來年度の豫算編成期にも入るに於ては、そろ〳〵彼等の間に暗鬪が始まるであらう。豫算の爭奪も行はるべく、利權の獲得運動も行はるゝことゝならん。臨時議會に於て沙汰止みとなつた既設鐵道の買收問題や、未設鐵道の敷設延長等に至つては、特に甚しきものがあるに相違ない。其外低利資金の貸附けとか、公益事業の補助とか、道路の修繕とか河川の改修とか、彼等の利害に大關係を有する問題は、頗る多いのである。而して國家の休戚よりも、自己の利害に重きを置く彼等の仲間は、實に血眼となつて之れを爭ふに相違ない。又地方長官其の他の人事行政に至つても、彼等の利害は互に相反するに相違ない。かくて此等の重大問題を持越して開かるべき來る六十三回の通常議會に於ては、彼等は最早や決して神妙に差控へることはあらざるべし。必ずや怒號鬪爭の活劇を再演するに至るべし。其の結果肝腎の擧國一致の協力内閣を打壞すに至るべきを疑はぬ。

◇

元來現内閣は強ひて擧國一致の形式を具へんと欲し、其の歷史、感情、及び利害の互に相反する政民兩黨を擁せんと企てたのが抑もの間違ひである。現内閣にして若し基礎の堅固なる強力内閣を組織せんことを希望せば、始より微力なる民政黨の如きは、之れを眼中に置かず、寧ろ政友會にのみ立脚すべきであつた。其の方が遙かに基礎の強固なる内閣が出來たのであつた。或は擧國一致の形式に於て缺くるところあるやも知れざれども、此の方が遙かに強力内閣となつたのである。今改めて云ふまでもなく、政友會は衆議院に於て三百餘の議席を有し、優に絕對過半數を占む。現内閣にして若し固く之れと提携し、十分に之れと意思投合さへすれば少數派の民政黨の如きは、全然之れを無視して可かつたのである。否、其の方が遙かに強固なる内閣が出來たのである。然るに齋藤首相が徒らに擧國一致の美名に囚はれ、犬猿も啻ならざる民政兩政黨を強ひて一つの檻の中へ押込まんと試みた。彼等が間もなく咬み合ひを始めるのは知れ切つたことである。而して其結果此檻をも破壞するに相違ない。是れが現内閣の弱點であつて、之れが爲め現内閣は到底長壽を保つことが出來ぬのである。齋藤首相が最初から此點に思ひを致さなかつたのは、大失策であつた。民政黨も此内閣に閣僚を送つたのが大なる間違ひであつた。吾人は斯く觀察す。

今後の滿洲は困難な建設期

國民一致の努力が必要

記者團との初會見で　本庄軍司令官談

本庄關東軍司令官は三十日午後四時、軍司令部において在奉記者團と初會見をなしたが、軍司令官は劈頭に

滿洲事變發生以來の事態は先づ順調に進んで、こゝまで來たが、これには言論機關が終始、軍の行動を時々刻々報道したことが與つて力がある

と感謝し、次で記者側の質問に答へて左の如く語つた

滿洲 の四頭政治を廢して強力な統制組織に改正するといふ話は自分は新聞で知つてゐるだけで、實際はこの方面からも何も云つてきてゐない、恐らく東京でもまだ決つてゐないのではないかと思ふ、然しこの問題は昔から唱へられてきたところであつて、滿洲問題に立派な結果を齎すために、さうするのがよいといふのなら、さうなるかも知れない、ところで事變以來軍と滿鐵、關東廳及び領事館などとは完全に協力して、その間一點の齟齬もなく、非常に圓滿に連絡協調してゐる、とにかく新内閣は滿洲問題のよき解決を得るに努力するといふことだが新内閣成立以來、今日までのところ政治、作戰の兩方面とも何ら新しい指示をうけてゐない

軍司令官は語を續けて語る

北滿 に對する我兵力が十分であるかどうかといふお質ねだが兵力は多いに越したことはないが、我々としては先づ與へられた兵力だけで出來るだけのことをする、黒龍江省の邊境は手が屆きかねるかも知れぬが、大體必要な範圍だけは今の兵力で足りると思ふ、馬占山なんかは今は問題にしてゐない、馬占山に限らず治安を亂すものはすべて驅逐する考へだ、早く治安を恢復して農耕が出來るやうにしなければならぬ

最後に軍司令官は國民に傳へる言葉として

今日 まで事態が順調に進展してきたのは勿論、在滿將兵が實によく働いてくれ文字通りに水火を辭せなかつたことも殆ど想像以上であつたのと、國民の後援の熱烈さがこれまた我々の想像以上であつたこと、この二つの賜である、自分としては國民に對し何ともお禮の言葉もないと思つてゐる、いふまでもないが我々將兵は今回の事變では何のために働くのか、よく分つてゐた、即ちそれは滿洲問題を解決しなければ日本の生きる道がないといふ自覺であり、從つて今日の事態はある意味で日露戰役當時以上に重大な時期であるといふことである、かくの如きは時世が進んだせいかも知れぬが軍人も國民もよく理解してゐた、然し一面、將兵の善戰善鬪は

國民 の後援を得なければ期待出來るものでなかつた、またそれは個人の力ではなく、自分の考へによれば國難に處する時に當つて躍動するある目に見えぬ力の働であると思ふ、この力はどういつていゝか分らぬが藤田東湖の所謂正氣といふものではないかと思つてゐる、然しこの上とも國民に對する希望は滿洲問題は大體において豫定通りに進んではゐるが、まだ〳〵治安の恢復や維持に非常な努力を要するばかりでなく、これから建設期に入らんとしてをり、この建設は非常に困難なものであつて、これまでと同樣の努力を要する、そこで國民は滿洲問題が既に片づいて何でも出來るといふやうに早合點せずに、滿洲問題はこれからだといふ氣持で眞劍に努力して貰ひたい

新舊拓相の事務引繼ぎ

新舊拓相の事務引繼ぎは二十八日午後一時よりかくの如く行はれた寫眞は永井新拓相(左)秦前拓相(右)

滿洲國建國の歷史的意義

『滿洲人の滿洲主義』……(五)

十、支那人及び外國人の錯誤

然らば近代の支那人は何故に滿洲を以て、支那の領土と主張するであらうか。之は支那人が滿洲建國の本義を知悉しない結果の錯誤である。元來滿洲は清の太祖太宗によつて完全に征服され、愛親覺羅氏一族の私有領土として取扱はれてゐた關係上、滿洲が勢ひに乘じて入關し、中原を平定して支那本部に君臨するや、その私有に屬する滿洲領土は、新に征服した所の支那本部とを併せ倶に大清帝國の版圖に歸屬せしめられた。當りこの時にその大版圖上における滿洲の地位は支那本部を領有する主人公であつた。即ち支那本部は滿洲人に征服せられ、支那人は滿洲人の君主に對して北面臣服した。故にこの時の滿洲は支那人の稱する如く、支那の領土ではなくて、却て支那が滿洲の領土となつたのである、即ち滿洲と支那本部との關係は中間に清廷の介在することによつて聯繫されたものである。それで愛親覺羅氏が支那本部に君臨するの期間、滿洲も亦その版圖の一部分と爲るも若し滿廷が中國の政權を放棄し、大清帝國が瓦解した場合に當つては、滿洲と支那本部とは當然關係を脱離し分立すべき性質のものであつた、但し滿洲の宗主權は依然清廷に存し、支那側はこれに對し何ら容喙の權利なきものである。

從來支那人の滿洲に對する根本的觀念は即ちこの點において非常な錯誤に陷つてゐるのである、蓋し三百年來滿洲人の君主を支那の君主と爲して奉戴してゐた結果、本來滿洲君主の領有してゐたところの滿洲までも反つて支那の領土と誤認するに至つたものである。これ即ち國民政府が從來清朝に服從せるも、支那人に隷屬することを肯じなかつた蒙古に對して、依然支那の宗主權を主張するのと大した差異はない、單に支那人に限らず、西洋人らが滿洲を以て支那本來の領土なるかのやうに誤認してゐるのも大體上述の理由に基く、即ち當時清朝が滿洲皇帝として支那を支配してゐたので、西洋人はこれを支那皇帝と稱し、その支配せる總ての領土は凡てこれを支那といひ、これを地圖上、或は外交文書の上にも表明したのである。

西洋人らには清朝の皇帝が滿洲を清朝特別の領土として支配し、これを支那の領土として支配してゐたものでないといふやうな複雜な點は理解し得ず、滿洲を支那の一部分と誤認するに至つたものである、これに反し古く十七世紀の後半から十九世紀の上半にかけて支那に入つた西洋人らは、滿洲を決して支那とは稱してゐない、明代に蒙古を韃靼と稱してゐた關係上滿洲は亦東韃靼と呼ばれてゐた、例へば明末清初の戰亂を歐洲に傳へた耶蘇會士衛匡國の韃靼戰記(俗名)には滿洲を指して韃靼と稱してゐる。また西暦一千六百八十二年(清康熙二十一年)康熙帝の滿洲巡幸に扈從した耶蘇會士南懷仁の旅行記の如きは滿洲を明かに「東部韃靼即ち女眞地方」と記して支那とは呼んでゐない、なほこの外に西洋人も滿洲人の居住地であり、滿洲人によつて支配されてゐる事實を見て、滿洲國と稱し支那の領土と認めたものはない。

一方また支那人は滿洲における漢民族の多數移住せる現狀より觀て宗主權を主張する一理由となすも漢民族の集團的滿洲移住は僅々百五十年内外の歷史を有するに過ぎない、明代遼東に漢人の居住せる事實あるも、清朝が滿洲を統一し入關以來、滿洲を封鎖し漢民族の移住を嚴禁せる期間は何らの交渉もなかつた、十九世紀の初め支那本部における人口の増加は漸次生活を壓迫するに至り、漢人の滿洲移住を希望する者増加し、遂に政府の禁令を犯して竊に滿洲に侵入し農耕する者あり、清廷も亦時代の趨勢に鑑み、嘉慶八年(一八〇三)に至り滿洲の一部を開放したる最初として漸次滿洲封禁の令を解き漢人種の移住を許すに至つた。

爾來漢人の滿洲移住は年と共に増加し今日に及ぶ、河北、山東兩省方面より移住した漢人は、純朴無智の土着民族を排除し主客顛倒、その地位を變ふるに至り、漢人種は恰も往古から滿洲を占據せるかの如く稱するも、歷史は雄辯に之を否定するものである、勿論この間滿洲と漢人種との關係は既述せる如く、多少の關係はある、全然沒交渉といふ意味ではない例へば後漢の末、遼東太守として遼陽に據つた公孫度の如きは、父祖三代に亘り、勢威を振ひし事あり、或は唐太宗は朝鮮征伐によつて遼東の南部地方を、その勢力範圍に收めたる時代あり、或は又明代においては遼東に地盤を開拓し、唐代とほゞ同地域を占めたる如き事實あるも之は單なる一時的現象に過ぎなかつた、その地域にしても今日の奉天省南部、主として遼河流域に限定せられ、未だ嘗て滿洲全部を掌握支配したといふ事實は絕無である、若し支那人が此れ等の事實を以て「滿洲古來支那の領土であつた」と主張するものとすれば、それは非常なる錯誤と申さなければならぬ、具に滿洲の歷史を熟思すれば、此點は自から明瞭となるものである。

巡査を増員し

各署所管區域を改變

關東廳の警備充實案

關東廳警務課では事變以來、警察力の充實擴大と時局の重要性に鑑み撫順、奉天長春はじめ滿鐵沿線各地警察全般の警察系統の改正に就き研究中であつたが此程右の爲め沿線出張取調中なりし加藤警務課長に詳細報告の結果具體案の作成を急いでゐる、仄聞するに右は各地警察署の所管區域に改變を加ふる外安奉線及び奉長線間の中間驛所在派出所二三ケ所の昇格、邦人巡査(大部分内地にて銓衡より募集)五百五十名、邦人巡査補(現地採用)鮮人巡捕各百名の増員配置等がその重なるものであると、尙過般來警官増員の爲めこれを收容すべき宿舍拂底を補ふ爲め約五十萬圓の豫算にて第一期四百戸を新築すべくこれが工事を直營すべく關東廳土木課に於て模範的家屋設計中であるといふ

滿鐵六年度決算

今明日中に決裁

大藏省に廻附の豫定

【東京特電三十一日發】滿鐵六年度決算については目下上京中の首藤理事より拓務、大藏兩省首腦部に大體報告説明をなし細目については大垣主計課長、長瀨決算係主任より詳細なる説明をなしつゝあつたが、昨日河田拓務次官、北島殖産局長の承認を得、今明中に永井拓相の決裁を經たる上大藏省に書類を廻附する段取りとなつたが比較的順調に原案通り内承諾を得る見込みである、なほ滿鐵監事會は正副總裁の上京を俟つて開催の筈であるが多分恒例により十五日正午より狸穴社宅において開かれるであらう

滿蒙農業開發の

指導者養成のため

關東廳が臨時講習所を開設

關東廳では滿蒙移民問題に關し豫て具體案講究中なること屢報の通りであるが滿洲側でもこれに刺戟され從前の原始的農耕法より蟬脱し更に文明的方法により農作物の改良と收穫の増量を圖るべく期待さるゝがその際これを指導啓發するは隣邦の義務なりとし其の任に當るべきものを養成すべく學務課では農林課と相謀り農業教育の普及を圖る事となつた、この爲め來る六月一日より旅順高等公學堂及金州農學堂の二ケ所に農業教員臨時養成講習所を開設これに要する指導者を養成するが、前者は普通學堂の教員中農業智識ある者を、後者は之を二班に分ち師範學堂出身者を第一班とし前者同樣六月一日より十五日まで農業學堂出身者を第二班として六月十六日より三十日まで各十五日間の速成教育を施す筈でその教師は金州農學堂、公學堂教員及農事試驗場技師その他を以て充當すると尙は他方母國よりの移民指導補佐の爲め邦人農業講習生を募り之を金州農業學堂に收容し農事教育を施す筈だと

北滿十六縣に

自治指導部

滿洲國では今度ハルビンに民政部臨時縣自治指導部を設置し兵匪の慘禍を受けた北滿諸縣の自治指導に專念せしむることになつたが、さしあたり左の吉黒十六縣にこれを設置し逐次匪賊の殲滅をまつて北滿全縣に擴充される筈だといふしかして臨時自治指導部では庶務連絡兩係を置き既に中央政府と連絡をとつて完璧を期することゝなつてゐる、なほ吉黒十六縣は吉林省内では雙城、賓江、阿城、珠河方正、賓、葦河、寧安で黒龍江省では通河、綏化、肇東、木蘭、巴彦、呼蘭、海倫、蘭西の諸縣である【長春電話】

庭木が欲しい

農村生

◇旅大兩市には追々人家が殖え殊に行政整理に逢ひ住宅建築する者もありますが扨て家が出來ても植木は手に入らず困つて居る人が多いのです關東廳には苗圃はあれども苗木は賣下げて下さらぬ樣ですが庭木や果樹苗を賣下げる途が開けますならば市民は大喜びであります。

(お答へ)以前は多少希望者に苗木を賣ることをやつてゐたさうですが近年はほとんどありません、また現在苗圃にある木はアカシヤや松で、それも山に移植するための一年もしくは二年生のもので、とても庭木にはなりません、それゆえ個人的に拂下げることはまづ不可能でありますが、もし何人かの人が共同で相當の數を纏めて正式の書面か何かで申出られたら當方も出來るだけの御面倒は見ることに致しませう、また果樹苗も今春はもう時期がおくれたから駄目ですが特に御希望の方があれば明春にでも申出られゝば何とか考へて見ませう(大連民政署林業係)

(係記者より)大連には西公園町の高谷園藝部、旭町の滿花園他三四軒の植木屋があり相當庭木を持つて居ますからこの方へお尋ねになつたらよいと思ひます

老木を惜しむ

日露役の古武士

◇輸入組合の前に得難き(何と云ふ木か知りませんが)大木が路の眞中にありますが子供のいたづらから皮をむいてあります。

◇心なき馬車夫の軸に引掛けられていためられて居ります何とか保護の方法はないものでしょうか露人の御路樹を保護してありましたのを見て居ります私共日本人の樹愛と云ふ事の心根がないのになさけなくなります(根元丈けすまきにするか鐵板卷きにして保護したいものです)

市民運動會に就て

K・S生

◇大連市民運動會が年々盛になる事は幹部員を始め各委員の御努力と深く感謝致して居りますが只年々年齡別の不正確になつた事も事實であります殊に壯年以上の中に一見して判る樣な青年が平氣で出場する事、今年は出來得る限り無い樣に切に御願ひ致します。

の増加となつた

棉花立會增設

【大阪三十日發】三品取引所組合では三十日組合聯合協議員會を開き第二部棉花立會增設に關し協議したるが結局後場の立會を一節増加し綿糸の引後二時五十分から立會ふ事に決定した、尙實施期は七月一日とし此の旨主務省に認可の申請を爲す事とし前場は從前通り立會ふはずである

六年度の蜜蜂

【東京三十日發】農林省發表昭和六年蜜蜂統計＝昭和六年の蜜蜂は飼養戸數年末現在四萬四千三百八十四戸にして前年に比し四千四百五十一戸を増加せり函數を種類別にみれば内國種は八萬二千九十七函四割四分一厘外國種十萬四千二百六十六函五割五分九厘である而して同年中に於ける蜜蜂及び蜜蠟の生産額は、蜂蜜總量五十三萬二千二百九十二貫價格八十八萬一千四百六十五圓蜜蠟數量六千六百十二貫價格三萬二千四百七十四圓である

棉花と生糸が入超激增原因

【東京三十一日發】大藏省發表、五月下旬における主要十六港分對外貿易入超二千三十四萬一千圓、一月以降累計入超は二億五千三百七十八萬四千圓に達した(單位千圓)

輸出	三四、九一七
輸入	五五、二五八
入超	二〇、三四一

前年同期に比し入超の激増せるは主として棉花輸入が千八十一萬三千圓を増加せると生糸輸出が四百七十八萬九千圓を減少せるによるこれがため一月以降の入超は二億五千三百餘萬圓に飛躍し前年より更に一億四千八百八十七萬九千圓

辭令

【東京三十日發】辭令左の如し

任關東廳理事官(七等)　關東廳屬　河野正明

關東廳辭令（二十八日）

任關東廳屬　税務署屬　鶴岡正雄

人事

▲吉川義章氏(電通支社長)三十一日午後十時發にて赴奉、約一週間滯在の上歸連の豫定

大觀小觀

滿洲國の大國道築造計畫がある、文化は道路から、興國の氣漲る時は先づ國道築造になる▲窮民の救濟、兵匪の招撫、物資の融通など、一擧十得位になる▲揚子江再び大汎濫の氣配が見える▲國治まらぬ間は水も治まらぬ▲國家社會主義の一團として、赤松小池兩氏の國家社會主義新黨準備會山名望月兩氏の勞農大衆黨脱退組及び下中氏の日本國民社會黨の三派合同が間際になつて決裂した▲結局下中派を除く兩派が結束して日本國家社會黨なるものになつた▲此人達も年ガラ年チウ抽象的の理論の爭ひで、合同したり分裂したりしてゐるのみで、國民の實際生活に觸れてゐない▲理論はどうでもよいから、働いたら現實に喰へる政治をやつてくれる政黨がありたいものだ▲蔣介石君、第四次の共産匪討伐に出掛けるさうだ▲共匪討伐ならいつでも仕事になるわけだが、第五次第六次といつまで續くか分らず、餘り名譽なことではない。

市況（卅一日）

株式

内地弱含み　當市弱保合

内地主力株の後場軟弱を入れ當市の五品は四五十錢安錢鈔二三十錢安東新も一圓摑み安に引けた

後場　◇定期・　銘柄　當限　先限

新豆　寄　引　[illegible]

五品　寄　中　引　[illegible]

特産

北滿筋の煎れで大豆強調

後場の定期は大豆は南支乘替、北滿の煎れで強調を辿り豆粕は添ず區々保合豆油は動かず高粱は強調を呈した

◇定期後場（卅一日）

▲大豆（強調）單位厘　限月　寄付　高値　安値　大引　[illegible]

▲普通大豆　出來高　六十八車

▲豆粕（區々保合）單位厘　[illegible]

▲豆油（保合）單位錢　出來高　九千枚

▲高粱（小堅）單位厘　出來高　五千五百箱

▲包米　出來高　五車

▲現物後場（卅一日）

	寄付	大引
混保（袋入）	五四〇〇	五四二〇
大豆（裸物）	五十車	
普通（袋物）	五三五〇	五三六〇
大豆（裸物） 出來高	三十車	
豆粕	一七二五	一七二五
出來高	四千枚	
豆油	一四三五	一四三五
出來高	一千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

材料薄で保合閑散

材料薄に氣配變らず氣乘薄閑散

◇定期後場（卅一日）　寄付　高値　安値　大引

出來高　期近六十七萬圓

◇現物後場（卅一日）

一時半　二時半　三時半

出來高　銀對金五千圓　銀對洋五千圓

商品

受渡休會

奥地市況

▲奉天票　現物　九〇〇

▲奉天大洋　現物　六七、二五　先限　一四八、二〇　一四八、三〇

▲開原大洋　現物　六七、五〇

▲安東鎭平銀　九八六　九八六

市場電報

神戸特産

大豆現物　大豆先物　豆粕現物　豆粕先物　滿洲小麥　豆油現物　[illegible]

東京株式（短期）

	東新	鐘紡
寄値	一三八七〇	一九六[illegible]
引値	一三八一〇	一九五[illegible]

大阪株式

銘柄　大株　大新　鐘紡　東新　日郵　滿鐵　[illegible]

化粧問答

サーワ化粧問答を始めて僅かに二回、お問合せが既に山積して、之からの分は到底お答へ致し兼れますから、遺憾ながら茲に一先づお問合せを打切る事に致しました。惡しからず。但し既に到着の分だけは出來得る限りお答へ致します。

（問）此春に女學校を卒業したものです。サーワ白粉を附けやうと思ふのですが、一体刷毛は何んなものが必要でせうか？　神奈川縣　芳子

答＝道具は矢張道具です。ホントに白粉の效果を擧げる爲には刷毛も各種欲しいものですが、大体塗刷毛、水刷毛、牡丹刷毛、それに粉白粉用のパフ、と之位有つたら宜しからうと思ひます。分り易いやうにカットに寫生を出して置きました。上から板刷毛、白粉を溶伸すに用ひ、又塗るに用ひますから塗刷毛とも呼びます。次が筆刷毛です。塗刷毛の届かぬ部分へも届かす爲に細く出來て居ります。それから水刷毛、之は塗つた白粉が乾いてから、水を含ませ一寸搾つて撫伸すに用ひるもので、或は他の刷毛でも間に合はぬ事はありません。次が牡丹刷毛、塗つた白粉の濕りを除り又仕上げるに用ひるので、粉を刷くにも用ひます。そして最後が粉刷のパフ、と先づ斯うした種類があります。序でゞすがチタニウム主劑のサーワ白粉は從來に無く分子が絹の樣に細かですから、之等の刷毛の效果は一層擧がります。

◇◇

（問）私事とても逆上せで荒性で居ります。何んなに叮嚀に化粧致しましても直ぐ毛穴が開いて白粉がまばらに成り落付かず、ガサ〳〵に成ります。たとへ一度でも人樣の樣に綺麗にお化粧致して見度いと念じて居ります。今ではもう白粉附ける氣に成りません。何卒綺麗に白粉附けます樣お教へ願ひます。頸は顔より惡しくて白粉等とても附けられません。幾重にもお頼み―　秋田縣　武藤すゑ

答＝井戸水でせうから藥屋から硼砂末を買つて來て、使ふ度に少量宛溶かして使つて御覧なさい。石鹸は粗惡なものを使はぬやう、作用の緩和なミツワ石鹸のやうなものを使ふ事。そして矢張コールドクリームのマッサージを毎日一回位づゝ氣長にやつて御覧下さい。先づ蒸手拭でよくお顔を蒸して拭つてから豐富クリームを塗つて、キレイにした指先で外側へ外側へと云ふ具合に何回も撫でる事を繰返すのです。後又蒸手拭で拭いて次には冷し手拭で毛穴を緊める氣持に冷しながら拭くのです。クリームはサーワのコールドクリームをお奬めします。入浴の折にも上る時に冷水で顔を洗ふと云ふやうにして御覧なさい。つまり漸次皮膚を美しく改造しやうとする理です。そして不斷サーワ化粧水を擦込むやうにします。以上はお顔にも頸にも同樣の御注意です。お化粧はサーワのクリーム白粉か好からうと思ひます。或はサーワの粉を刷いた上に水白粉を附けられたら如何？　兎も角も規則的な生活をなさい。夜はよく眠られるやう胃腸を丈夫にしてお通じにも氣を注けられる事。

◇◇

（問）サーワ化粧水の上に、サーワ煉白粉を化粧水で淡く溶き幾度も〳〵塗り、其上を水刷毛して、ガーゼで濕りを除つて粉をハキます。此方法ですと、眞實に思ふ儘自然らしくお化粧出來るのですけど、何だか顔がアレル樣に思はれますが？　又頸化粧を何んなに手マメにしても直ぐ黒ずんで直ぐ着物の襟に附いてしまひますが？　岡山縣　問子

答＝毎晩就寝前に前の答へにも有る樣にサーワ・コールドクリームのマッサージをして頂きます。次に頸のお化粧の事は、多分脂肪に亂れるのでせうから、お化粧前にサーワ化粧水を含ませた脱脂綿でよく〳〵拭いてから、サーワの粉を刷いて暫らくおき、一旦それを拭除つてからお化粧して下さい。そして淡い砂糖水で水刷毛して御覧下さい。何、頸は脂肪の多いものですから、平生ミツワ石鹸でよくお洗ひ下さい。そしてコールドのマッサージは勿論入念に致します。

◇◇

（問）私は十八歳の男子ですが痤瘡が有ります。そして顔を美しくし度いと思つて居ます。如何すれば宜しいですか？　堺市　U・Y生

答＝既に出來た痤瘡は潰めないやうに、ミツワ軟膏を附けて置いて下さい。自然に膿が出て口が無く成つたらサーワ化粧水を毎日擦込む樣にします。又痤瘡を作らず美しく成るには、ミツワ石鹸のやうな作用の緩和い石鹸で常に顔の脂肪を落す事、湯の方がよく落ちます。そして其後サーワ・ヴァニシングクリームか今云ふ化粧水を擦込んで置くのです。それから便通に注意し、刺激物を攝らぬ事。

◇◇

（問）私は顔に白粉を附けますとどうも固まつて了つて巧くノビません。皆樣のお勸めで種々方法を考へてやつて見ますが、矢張いけません。色黒なので肌色を使用しますが大きな斑點の樣に成つて了ひます。如何すれば宜しいのでせうか？　東京　喜久代

答＝地肌がよく出來て居ないからだと思ひます。前問の答への頸の化粧手當をお顔へも應用して御覧下さい。そしてサーワ水白粉の肌色を一寸淡めてよく煉伸し、二三回繰返して叮嚀に塗り、乾いたら水刷毛でよく撫伸し、あと牡丹刷毛を使つて御覧下さい。分子が細かな白粉ですから之等の刷毛が面白い樣に效き、又よく伸びます。尚白粉下にクリーム類を使はれたら、必ず一旦よく拭除る事。

◇◇

（問）十九歳で御座いますが、顔に腫物が出來ます。色々藥をつけて見ますが良く成りません。また出來ました跡がぶつ〳〵として何時迄も〳〵殘つて居まして、粉白粉を附けても其處丈は紫色に成つて了ひます。　東京　幸代

答＝前々問の痤瘡に對する答へを御參照下さい。うす黒い傷痕はサーワ化粧水を根氣よく毎日擦込むやうにして居たら宜しく、更に貴女にお勸めしたいのはサーワ・コールドクリームのマッサージです。皮膚の新陳代謝を盛んならしめやうと云ふ譯、が跡を爽然と拭除る必要が有ります。それからミツワ石鹸のやうに作用の緩和い石鹸で、常に皮膚の清潔をお心掛け下さい。そして胃腸を丈夫にする事、食養生、夜もよく眠る事等。

御婦人の洗髪

今迄假に月一回のお洗髪であつたとすれば、春からは少くとも月に二回位は洗ひ度いもので、と申しますよりは汚れた場合には何時でも洗はなければ成りません。

さて其洗料は色々ありますが矢張眞實に地肌や毛髪を清淨にします爲には石鹸汁が宜しいやうで、唯注意すべきは良い石鹸を選まなくては成らない事で、例の毛髪が赤味を帶びるとか、又キシム等の事實は皆良く無い石鹸を使ふからの事であります。

卽ち品質が純良なばかりか、特に其化學的の作用が緩和くて、洗ひ流せば後に微塵も石鹸分を殘さないミツワ石鹸のやうなものを使へば理想的であります。

成るべく大きな金盥、底は淺くて結構ですが、之へ微温湯を滿たします。そしてミツワ石鹸を溶いて薄い牛乳の程度、指で抓んで見ればヌル〳〵と感じる位の程度にして、之でもつて頭の地肌から毛髪を充分に浸すのです。それから地肌をよく〳〵洗ひ、又毛髪は梳くやうにして何回も何回も洗ひます。若し此際日本髪で髮などが油の爲に固く成つて居るやうでしたら、洗ふ前にミツワ椿油を一通り附けてよく解かして置けば大層洗ひ易いものです。

或ひは雲脂の多い方とか、又平生餘り油を使はれぬ方とかなどは前晩に矢張此ミツワ椿油を頭の地肌へよく〳〵擦込むやうにして置かれると宜しいのです。

さて洗ひ終へましたら後繰返してよくゆすぎます。此ゆすぎが不足しますと折角の洗髪も何にも成りません。そして最後のゆすぎ湯の中へ矢張ミツワ椿油を少量滴らすと、古い油や垢は一層完全に除れまして、同時に毛髪は美しい艶を持ち、又如何にもシットリとした感じに成り、直に御結髪の準備にも成る譯であります。勿論頭の地肌へも此椿油を擦込むやうに致して置きます。

一体椿油の特長とする所は浸透性と不乾性とで、此浸透性といふのは頭の地肌や毛髪の組織によく浸み透つて、其營養と成る意味ですし、又不乾性といふのは常に地肌と毛髪に潤ひを持たせて乾かしたり荒らしたりしない意味でありますが、獨り此ミツワ椿油に限つて以上の二つの特長を完全に持つて居るのです、と云ふのが、此油は冷壓法とて絶對に加熱せずに強力な壓搾機で搾つた儘の、全く純粹其ものだからであります。

毛髪の營養料としては斯うした油で無ければ意味が無い譯で、尚此油を基礎としたものにミツワ・ポマードとミツワ・コスメチックとが有ります。

オリムピック大會に 滿洲國で選手を派遣
八百米一分五十六秒の韋駄天 于希渭氏が選拔さる

來る七月アメリカ、ロスアンゼルスにおいて開かれるオリムピック大會に滿洲國側からわが國の岸博士を通じて參加方を申込んだことは既報の通りであるが滿洲國も將來世界の運動界に雄飛する素地をつくるため建國匆々の際ではあるが選手派遣費として一萬圓を計上可決し選手としては最初旅順に實家を有する劉長春氏を出場せしむる意向であつたが同氏は目下上海に在つてその交渉不可能であるため錦州に在る于希渭氏を派遣することゝし日本體育協會長岸博士に直接指導を依頼することゝなつた于選手は現在錦州で小學校に教鞭をとつてゐる人だが八百米一分五十六秒の記錄を有し本人も非常に乘氣になつてゐるといふ、なほ女子選手も考慮されてゐたが時期が迫つてゐる關係上本年は于希渭氏に監督一名の派遣に止め而して同選手をして七月二十六日ロスアンゼルスで開かれる第一回のリクリエーションに出場せしめ世界スポーツ界の智識を滿洲國に輸入し大いに斯界の向上に資する筈だと【長春電話】

哀し、死の凱旋
白川大將遺骸着く きのふ横須賀軍港へ

【横須賀三十一日發】上海事件最後の犠牲として兇彈に斃れ死の凱旋の途に就いた上海派遣軍司令官男爵白川大將の遺骸を乘せた二等巡洋艦龍田は半旗を揭げ三十一日正午横須賀軍港に入港、在泊軍艦の半旗悲しく登舷禮を行ふ中に港內豫定のブイに繫留された

暗雲低き今日の軍港には白川大將の遺族を始め武藤大將、小磯次官、横須賀鎭守府司令長官その他陸海將星親しく龍田に到り柩前に默禱涙の凱旋を迎へた

午後一時三十五分故大將の遺骸は派遣軍の田代參謀長、梨岡副官等側近幕僚等百餘名に護られ同艦の右舷を降る、軍艦富士の艦載水雷艇に移され龍田から十七發の弔砲發射する間に一時四十五分大井市長初め官民多數の整列する逸見波止場に上陸用意の靈柩車に移され轜の軋りも悲しく横須賀驛に到り二時十八分諸員見送り裡に東京に向つた

司令部員凱旋 喪章をつけて

【東京三十一日發】上海派遣軍司令部員百八十名は何れも喪章をつけ白川軍司令官の悲しき凱旋に先立つて午前九時四十五分東京着列車で凱旋した

憂愁に閉された代々木の自邸 痛々しくも健氣な夫人

【東京卅一日發】白川將軍の悲しき凱旋を迎へる市外代々木大山の自邸は憂愁に閉され乍ら卅一日は朝來あわたゞしく準備が進められてゐる長男義正、三男元春、四男浩三君は横須賀迄出迎へ居殘つたたま子夫人は病軀を押して何くれと指し圖してゐるのも痛々しい遺骸を納めた靈柩は四十貫もある支那式のものなので此の朝大工を入れて床下の補強工事を進める內に各方面から花輪等續々持込まれる遺骸東京驛着の三時頃から町內靑年團、在郷軍人團、小學生等は門前數町に堵列して迎へることゝなつてゐるが夫人は東京驛迄出迎へ靈柩に從ふことゝなつた

勅使御差遣

【東京三十一日發】天皇陛下は本日午後六時故白川大將邸に勅使として海江田侍從を御差遣御弔問あらせらるゝ旨仰せ出された、又皇后陛下は六時五分岡本事務官を皇太后陛下は清閑寺事務官をそれぞれ御使として同邸に御差遣御弔問

尙明一日棺前祭には午前十一時、三陛下から勅使御使を御差遣祭粢料幣帛神饌、榊等を賜ひ二日葬儀當日も午後一時二十分靑山齋場式場に御差遣あらせられる由である

追悼式 旅順で執行

故白川大將逝去に依り旅順市に於ては關東軍司令官として在職中の縁故殊に深いので三十日協議會の結果、來る二日正午より旅順神社に於て神式に依り關東廳、關東軍留守司令部、旅順合同主催水山市長を委員長として追悼會を擧行する事となつた

分骨埋葬式 鄕里松山で

六月十四日には白川大將鄕里松山で久米縣知事祭典長となり縣市合同の分骨埋葬式が行はれる

遼陽縣下平穩

遼中縣第三區北馬廠副村長は三十日午後七時奉天に赴き途中來遼したが同人の語る處によれば小北河附近に約二千の匪賊集合近く遼陽鞍山を襲はんとする風說あるを打消し小北河附近に目下有力なる匪賊團を認めず同附近十數ケ村の部落に少數づゝの賊團居るは事實なるも今午至つて平穩であると【遼陽電話】

煙臺炭坑無事

煙臺炭坑の西南方約四里燕洲城附近占領中の匪賊團約五百名は三十日午後から東南方縣境に向け移動せるため炭坑附近における頭目祭懇好との內通成立せるもの〻如く炭坑附近は平靜の狀態にある【遼陽電話】

敵彈を受けて 二機不時着陸
操縱者何れも無事

【ハルビン特電三十日發】三十日朝六時ごろ海倫方面に出動した隊特務曹長、田中曹長搭乘の一機は敵の射擊をうけて故障を生じ綏化北方四十キロ、坭河と黑坭河の合流點附近に不時着したので、綏化から直に搜査隊が出したが、情報によれば、搜査隊はまだ到着しないが、附近には敵なく搭乘者は無事機體の重要部分を取はづし苦力を雇つて引揚げつゝあると、また三十日午後二時ごろ呼蘭との連絡に赴いた林野軍曹操縱の一機は途中機關に敵彈をうけ滑走してハルビン飛行場に引返したが、推進力足らず競馬場西北方に不時着したが、立木に衝突し機體を破損したが操縱者は無事

阿城陷落す
東部線又不通となる

【ハルビン特電三十日發】東支東部線阿城附近の兵匪數百は廿九日夜突然阿城を襲擊し來りこれと同時に同地駐屯の吉林軍二千はこれに內通して兵變を起し同地を占領し東支の鐵橋及びハルビンとの間の線路を破壞し電信電話を切斷し三十日朝一時以後、東部線の交通通信は全く杜絕するに至つた、よつて〇〇〇〇の兩軍は直に阿城攻擊に向ひハルビンからは〇臺の飛行機出動目下戰鬪中である

沙市に飛ぶ ブ中尉 再擧には一語も觸れず

【ニューヨーク三十日發】ブロムリー中尉は三十日ロサンゼルスに向つたが更にシャトルに飛ぶ筈、尙太平洋横斷には一語も觸れなかつた

氣まぐれのチャプリン 箱根より歸京

【東京三十日發】氣まぐれチャプリンは二十九日富士の秀峰を仰見る新綠の箱根でテニス等を始め茲二、三日滯在するものと思はれたが急に心境の變化を來し東海道をドライヴし三十日午後東京帝國ホテルに入つた

八雲記念祭典 希臘で行ふ

【東京三十日發】わが日本文化を廣く世界に紹介した世界的文豪故ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)の故鄕ギリシヤのラフカス島では此の六月八雲記念大理石碑を立て記念祭典を行ふことゝなつたが東京日希協會は故人に對する謝恩の氣持を現したブラク額(一尺二寸平方の靑銅版)に日本文ギリシヤ文を銘刻して贈る事となつた同島民は大いに其の行爲を喜び祭典を十月まで延ばしブラクの到着を待ちギリシヤ獨立百年記念祭と共に八雲記念祭を行ふこととなつた

山口教育視察團

目下沿線視察中の山口縣教育視察團一行五名は六日着連大連視察の上八日出帆のうすりい丸で歸國する由大連防長會では此の機會に歡迎茶話會を催すと一行の氏名左の如し

山口市山口高女校長三矢英松氏▲都濃郡德山高女校長小野直一氏▲大島郡久賀高女校長山本光二氏▲豐浦郡長府高女校長森要之助氏▲宇部市宇部高女校長鈴木瀧吉氏

言々、血で書いた 二青年の採用嘆願書
八田副總裁あて舞込む 「氣の毒だが……」と、滿鐵斷る

日本內地の就職難はますます深刻化し滿鐵が本年三月東京で行つた七年度新入社員の採用試驗の時も試驗委員連は宿屋を幾々と變へて訪問攻を逃げ廻つてゐたが、最近この內地の就職難を更に深刻に物語るものが現はれて來た、夫は血書による就職の嘆願書で滿鐵にも五月初旬卷紙に認めた血書の嘆願書が二通舞込み人事課でもその處置に困つてゐたが數日前にも北海道の二青年から悲痛な血書の嘆願書が屆けられた、二人共北海道札幌工業學校本年度の優等卒業生で名前は岩見田良雄君、と橋本仁三君と呼び八田副總裁宛に正式の履歷書、成績證明書を附した嘆願書であるが滿鐵としては既に新入社員の採用を終つた後であり二人の眞劍な氣持に心から同情を拂つてはゐるもの〻止むなく鄭重を極めた斷り狀を添へて卅一日これを本人達に送り返すこととなつた、右につき古賀人事係主任は語る

三月內地で採用試驗を行つたときなど一千名位採用して大連汽船の船でも借切りで玄海灘を渡れたらどんなにか愉快だらうと沁々思つた、こうした熱心な人は他にも澤山あるので、私としては本當に氣の毒とは思ふのですが手一杯に採用をした今どうすることも出來ないのです(寫眞は岩見田君の血書)

大連小學校の 缺食兒童
去年よりも激增す 不況時代の悲慘な數字

滿洲國の建設により當大連も多少景氣付いて來たかの如く傳へられてゐるが事實は之れに反して不況の擘はますます深刻化し惡いては純眞な初等學校兒童にまで及ぼし折角小學校や公學堂に入學しても晝食を食べられないとか人並の學用品も揃へ出來ないと云ふ憐れな兒童が少くないので市役所では學校當局と協力し晝食を支給したり學用品を給與したりして純眞であるべき兒童の心を成る可く傷けない樣救助してゐる今年も新學期開始と同時にこれ等憐れむべき兒童の數も尠くない模樣なので市內十五小學校、五公學堂に對し擧てから調查中であつたがその結果七年度豫算中より救助すべき人員は小學校、公學堂を合計し六年度より繼續のもの人員百三十名その中晝食のみ支給のもの三十五名、學用品や晝食を支給のもの百二十八名、七年度より新に支給すべき者は人員八十八名、その中晝食のみ支給のもの三十一名、學用品や晝食支給のもの八十八名、合計人員二百二十名、晝食のみ支給のもの六十七名、學用品や晝食支給のもの二百十五名と判明した、最も多いのは早苗小學校でその次ぎが松林、常盤、春日各小學校の順になつてゐるが、その內容は左の通りである

▲小學校の分

種目	六年度より繼續の者	七年度より新に支給の者	合計
人員	一〇九	八〇	一八九
晝食	三五	三一	六六
學用品	一〇五	八〇	一八五

▲公學堂の分

種目	六年度より繼續の者	七年度より新に支給の者	合計
人員	二三	八	三一
晝食	—	—	—
學用品	二三	八	三一

▲合計

種目	六年度より繼續の者	七年度より新に支給の者	合計
人員	一三二	八八	二二〇
晝食	三五	三一	六七
學用品	一二八	八八	二一五

林に死刑執行

昨年南山寮の殺人事件として世間を衝動せしめた殺人犯人林芳次の死刑執行は三十一日午前九時行はれたが永田刑務所長より死刑執行のいひ渡しあつて十一分を以て絕命同九時二十六分終了した

新刊「黎明の滿蒙」

大連史談會では今回「黎明の滿蒙」を編纂發行した、滿蒙に關する刊行物は數へ切れない程澤山あるが簡單に要點を摑み憎いものが多い「黎明の滿蒙」は帝國と滿蒙とは何應關係にあつたか、何故に生命線と云ふか、東北軍閥は何應態度であつたか、何うして滿洲事變が起つたか、皇軍のその動き、新國家滿洲國の建設、滿洲國とは何應處か等々事變の經緯と觀點となる可く平易簡明に摘錄したもので之れによつて滿蒙の容姿とその最近の變化と東洋平和の爲め努力を吝まなかつた皇軍の功績は一目瞭然である、定價五十錢、送料四錢、購讀希望者は大連市役所內大連史談會に申込めば好い

安樂椅子

エロ・ハルンビを代表する歡樂境ニッツアと言へば凡そ北滿視察團と名のつく旅行客が必ず思ひ出話にしやうと言ふ場所だ、そこにはハルビン名物とまでなつた〇〇踊りが晝夜の別なく展開されて出張旅費の何十パーセントかを捲き上げてゐる、處が時代は爭はれぬもので、こゝにもテロ事件が勃發して强慾な樓主を慄ひ上らせたものだ。

……◇……

何しろ事變景氣で晝日中から時間外勞働を强られてゐる彼女等は何ぼ何でもこれでは體が續かないとあつて「吾等に休息を與へよ」と騷ぎ出した、[illegible]しだが當人等は頗る眞劍である十數人の素給を超えた人類が騷ぎ出したのだから堪らぬ、流石の樓主も逃げ出したが、荒れ狂ふ娘子軍はそれでも腹が癒えずはてはガラスを破るやら椅子を投げるやら大氣焰の限りを盡し、特區のお巡りさんも散々手こづかれてダア。

……◇……

それでどうやら彼女等の要求が通つて落着したらしいが、これから氣に喰はなければ何時でもアバれると豪語して居る彼女等のテロが樓主に向られてゐる內はまだよい、旅行氣分で浮れて來る不良視察客に何時凄じいテロが飛ばぬとも限らぬ、君子は須らく危ふきに近寄らぬことだ【ハルビン特信】

黃昏の西部大連を 驚かした大爆音
天の川發電所微粉器の爆發 夕食時で被害者なし

三十日午後七時二十五分ごろ水源地方面に突如、一大爆音が起り沙河口、聖德街方面の住民は時節柄驚いて戶外に飛出したが、爆音と同時に天の川發電所より盛んに炎を吐き黑煙が立上るので、スハ發電所の爆發と數千の群集がおし寄せ、水源地保留所中心に黑山の如き人だかりを呈し、一時は大騷ぎを演じた、沙河口警察署では逸早く星ケ浦見張所より異狀を認めると共に署員の非常召集を行ひ、大內署長及び各主任出動警戒につくと共に靑年訓練所よりも三十餘名の團員が警備に當り非常の緊張を示したが、右は同發電所階上の微粉器第二號の爆發によるもので室內一部の機械を破損し發電所裏手西側トタン張の壁をメチャ〳〵に破壞したが、幸ひ夕食時刻だつたので現場には誰も居合はせず人畜には何ら被害がなかつた

損害は輕微

前川滿電技術課長は語る

微粉炭裝置のサイクローン分離器のところに故障があつたのです、原因は取調中ですが五百圓位の損失です、一部方面にて十二分間ばかり隔燈し御迷惑かけました

木村庄之助逝く

【東京三十日發】相撲協會の行司十九代目木村庄之助氏は本所緑町の自邸で病氣療養中であつたが三十日午後一時半死去享年六十四

露天市場强盗

三十日午後十時頃ごろ市內旛立町露天市場二區東一五六古着商郭隨亭方へ年齡廿六、七歲の支那人が強盜樣のものを突きつけ店員を脅迫机の上にあつた小洋十圓を强奪して逃走、小崗子署では目下犯人嚴探中

第十四期決算公告

昭和六年度下半期(自十月一日至三月三十一日)

借方(資産ノ部)

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
所有物	[illegible]
有價證券	[illegible]
貯藏品	[illegible]
生產勘定	[illegible]
預ケ金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
現金	[illegible]
證券	[illegible]
假拂金	[illegible]
未收金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方(負債ノ部)

科目	金額
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
社員退職慰勞基金	[illegible]
社員共濟金	[illegible]
預リ金	[illegible]
未拂金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

右ノ通ニ候也

昭和七年五月卅一日

南滿洲瓦斯株式會社

第十二期營業報告

貸借對照表(昭和七年三月三十一日現在)

借方(資産ノ部)

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
工具	[illegible]
什器及備品	[illegible]
材料品	[illegible]
石山	[illegible]
現金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
供託金	[illegible]
有價證券	[illegible]
貸付金	[illegible]
他店貸借	[illegible]
請負立替金	[illegible]
農場勘定	[illegible]
未收金	[illegible]
假拂金	[illegible]
未經過保險料	[illegible]
前期繰越損金	[illegible]
當期損失金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方(負債ノ部)

科目	金額
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
借入金	[illegible]
未拂金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通リニ候也

昭和七年五月三十一日

東亞土木企業株式會社

武門血笑記 (160)

下村悅夫作　布施長春挿畫

政變（三）

三田四國町の島津家の下邸、俗に云ふ薩摩邸の廣間に集つた十四五人の大一座。

正面には留守居役の篠崎彥五郎を始め、益滿休之助、伊牟田將平などの薩藩の利者が控へて、あとは、薩邸に匿れてゐる勤王浪士の頭分、または江戶市中に潛んでゐる勤王黨の主だつた面々で、末座に近く、武士姿の白井作樂の顏も混じつてゐる。

一座は先程から、ひどく興奮してゐるやうな激越な調子で、眉を上げ、口角泡を飛ばして、互に何か論じ合つてゐる。

「土佐が何ぢや、山內が何ぢや、今更大政返上などをされて堪るか、いらぬお節介ぢや」

浪士の一人が叩きつけるやうに云ふ。

話は、京の二條の城に居る將軍慶喜へ土佐の山內容堂が大權返上の建白を奏つた事を指してゐるらしい。

「幕府の武威も全く地に墜ち、幕府の罪狀も明白な今日、政權返上位で將軍の罪を許しては禍根を殘すやうなものだ。斷じて討幕の一本槍で押さなければいけぬ」

「さうぢや、ぐず〳〵して政權返上でもやられたら、朝敵の名目を失つて、却て面倒」

「京都の連中は何をしてゐるんだ」

「やらう、この機を逸せず我々の手で火蓋を切るんだ」

「江戶城を燒き拂へ」

「幕府の軍勢が何んだ、長州征伐の態を見ろ」

「諸侯の向背も、それに依つて決すると云ふものだ、今に及んで逡巡する必要が何處にある」

「江戶城に火をかけろ」

浪人達は熱狂して、手を振り、眼を怒らして捲くしたててゐる。

「待て、待たれい、諸君の意のある處はよく解つてゐる。だが、大政返上の建白書の件は、知つての通りやつと今朝知らせがあつたばかり、京都の樣子も解らぬ。もと〳〵我等の使命は諸君と一心同體ぢやぢやが幕府に賊名をきせる爲めには天下の人心が納得出來るやうな手段と、時機を選ばねばならぬ、この點西鄕からも呉れぐれ注意があつた。斷行は何時でも出來る、天の制裁は我々の手に委れられてゐる。此上は京都から次の知らせがくるまで待つても遲くない、輕擧妄動は、國家の大事の前に愼まねばならぬ」

篠崎は流石に一藩の束ねをするだけあつて、落付きのある殿かな口調、しきりに一座の者を宥めてゐる。

「いや、太夫のお言葉ぢやが、その姑息な手段が、今迄の我等の運動を誤らしたのぢや」

浪士の一人が執拗に抗辯する。

「急くな、急くな、手出しは向ふにやらせる事つた、始めからの西鄕の腹ぢや、でないと賊名を附けて討幕の勅書が出にくい。一旦錦旗が翻へれば、もう機運は熟してゐるのぢや、急く事はない、西鄕も、大久保も、桂も、一心同體ぢや、きつと今に諸君の溜飲を下げるやうな、吉報をよこすに違ひない、急くこたれえ」

と、休之助は、碎けた江戶前の口調で、苦勞人らしく、苛立つた浪人どもを柔らかに押へた。

「それに就いて」

と、彥五郎は、一座の少し靜かになるのを待つて先程から默念として控へてゐる作樂の方に視線を向け、

「これにゐる白井氏」

と、何事か樣子ありさうな口調で、一座を見廻した。

「目と耳の夕」 四、五日のプロ

滿洲新兒所主催の基金募集慈善演藝會の「目と耳の夕」は來る四日夜及び五日晝の二回協和會館で開催されるがプログラムは左の如くである

一、舞踊「春の聲」稻垣滿壽子、大政喜代子、澄田靜子、山井まき子、山領貴美子、唐澤悅子、早川マリア、川井愛鶴
二、舞踊「囚人」田中佐々市
三、舞踊「ラモナーナ」
四、民謠舞踊「茶摘唄」稻垣滿壽子大政喜代子
五、アックロバテイックダンス 和田昌子、片山君子
六、舞踊「ミネトンカの湖畔」柳木龜二郎、吉川正子
七、民謠舞踊「濱の踊り」稻垣滿壽子、大政喜代子、澄田靜子、山井まき子、山領貴美子、唐澤悅子、早川マリア、川井愛鶴
八、獨唱（イ）題未定（ロ）無名戰士に獻ぐる歌 季勝和
九、ダンス「愉快な黑人」柳木龜二郎、吉井正子
△休憩十五分
十、清元「青海波」清元研究會連中淨瑠璃小野鬼笑、岡崎、三味線清元延美佐榮、峰島夫人
十一、尺八獨奏に依る新舞踊「寒砧」舞踊柳木龜二郎、尺八草崎圭山
十二、舞踊「庭の千草」稻垣滿壽子
十三、舞踊「胡弓を彈く男」田中佐々市
十四、オリエンタルダンス「巫女の踊り」吉井正子、大政喜代子、澄田靜子、山井まき子、山領貴美子、唐澤悅子、早川マリア、川井愛鶴、片山千代子
十五、新日本音樂「都おどり」三絃福永大勾當、箏低音福森勾當、同高音木次初榮、尺八草崎圭山、同辻泰正
十六、新日本音樂舞踊「春の宵」舞踊全員、音樂福永大勾當、社中一同

トレイダーホーン ―常盤座上映―

アフリカの猛獸映畫であるが、これは驚異であるためにアフリカの神秘境がありのまゝスクリーンに描き出されて、百獸の物凄い咆哮が素晴らしい迫眞性を盛つて戰慄味を傳へてゐる、またこれは單なる猛獸映畫でなくストオリイを持つてゐる

●即ち交易商人として或は狩獵探檢家として全生涯を殆んどアフリカで暮した英國人アルフレッド・アロイシアス・ホーンの體驗談を南阿の女流作家が單行本として出版した「トレイダ・ホーン」をMGMで映畫化したもので、日本では溝口歡子孃の飜譯がある

ストオリイはホーン（ハリー・ケリー）が舊友の息子ペルー（ダンカン・レナルド）と共にカヌーに乘つて西部奴隸海岸から大コンゴー河の上流地方に旅行し鰐、縞馬、麒麟、豹、ライオン、ハイナー、羚羊、犀に脅やかされ、幾度か危地を脫して進むうち、二十年前に土人に拉致された娘ニーナ（エドウイナ・ブース）をさがす宣教師の未亡人に出會ひ、數日後その婦人の死體を發見し、更らに進んでイソルギと言ふ蕃族の中で「白い女神」と呼ばれてゐるニーナを見付け、捕はれて拷問せられようとするところをニーナに救はれて共に死地を脫し遂に黃金海岸に出て、ニーナとペルーを都會に歸しホーンは一人淋しくアフリカに殘るまでを描いたものであるが、ストオリイには大分無理があるし、ニーナの扱ひ方も感心されぬところがある

しかしストオリイよりも錄音された珍しいアフリカの聲に興味が集中される作品である、猛獸の撮ひ方は別段と耳目新しくないが、物凄い土人の喚聲がわれ〳〵を全く新しい世界に引張り込んでトーキーの面白味が先づこの蕃人の生活に發見される

また猛獸映畫としても編輯は餘り感心されぬが、その出て來る各場面は輝を持つてゐるだけに物凄い迫眞力を持つてゐる、印象に殘る場面では犀が土人を觸すところに始り、ライオンが縞馬を追ひかけ縞馬がライオンをひづめで蹴り乍ら逃げ去る珍らしい場面、羚羊を斃したライオンが數頭で餌食を爭ふ場面等が次から次へと戰慄を覺えしめるがライオンがニーナに飛びかゝり土人が木槍で見事にそのライオンを一擊の下に斃して娘を救ふ場面に至つてクライマックスに達し物凄いものがある

監督はヴァン・ダイクで土人レンチエロ（土人オムール）の扱ひ方は手に入つたものである、カメラマンは「南海の白影」のクライド・ド・ヴィンナで移動や望遠レンズにある猛獸の捉へ方と共にジヤングルや河や空が一幅の繪畫としてクランクされてゐるのも見遁せない、そして何よりも音聲を持つ猛獸映畫として興味が倍加される刺戟の強い作品である

學生映畫デー トレイダホーン

大連滿鐵社員倶樂部主催の協和會館に於ける第三十五回中等學生映畫デーはトーキー漫畫一卷、「極東トンボ二人組」六卷「トレイダホーン」十三卷のプログラムで左の日割により開催されることゝなつた、三十一日午後六時半一中、二中、六月一日午後二時彌生、女技、家政、二日午後二時神明、女商、羽衣、同午後六時半商業、實業、遞信、鐵道、教習所、會費は二十錢である

噂話

チャプリンの「街の灯」の交渉に上海へ行つてゐた映樂館の宮田技師の土產話によると▲チャプリンの古い作品のネガを巧に編輯してデッチ上げた偽物の「街の灯」があるそうだ▲しかもその偽物が三千圓の呼び値だといふから馬鹿に出來ない▲映樂館の六月プロのうち「火の山」や發聲版の「西部戰線異狀なし」がある▲常盤座の小泉友男氏は七月プロの編成其他の用件で近く內地へ行く豫定である▲帝國館のトーキー興行はいよ〳〵底抜け景氣で月曜日もガタ落ちがせずまだ頑張つてゐる▲滿洲詩人近東綺十郎氏らの提唱で「星紀座」といふ新劇運動の團體が新しく生れた▲石井漠舞踊團から滿鐵社會課の斡旋で近く來滿する旨の挨拶狀が來たが▲滿鐵では寢耳に水で一向樣子が判らず、火元はどこだと社會施設係で目下搜査中である

本社特選 新棋戰【其五】

香落八段△土居市太郎
六段▲飯塚勘一郎

【圖は七六角迄の局面】

飯塚氏 持駒 歩▼

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一		v桂			v金		v桂	v香	
二				v銀	v金		v王	v銀	
三					v歩	v歩		v歩	
四	v飛		v歩	歩			v歩		v歩
五									
六	v香	歩	v角	角	銀				歩
七	v歩			飛	歩	歩	歩	歩	
八								玉	
九		桂		金		金	銀	桂	香

△土居氏 持駒 歩歩歩

△三八銀　▲九八歩成
△七七桂　▲八八と
△五八金左　△七八と
▲六五桂　▲三三銀
△九五歩　▲九二飛
△七九歩

【土居八段講評】飯塚君の七八とは漸次活用の意味なれば手段としては可なるも、目下の狀態は飛車の頭が重くその爲め防戰に支障を及ぼすから九九香成と指して早く飛車を侵入して置く方が攻防さもに得策である。上手七九歩打は敵害し間飛なら七三歩と打つて攻勢を探らうとの意味である。